292
7

始

292
7

東京美術學校一覽

從大正七年
至大正八年

292-7

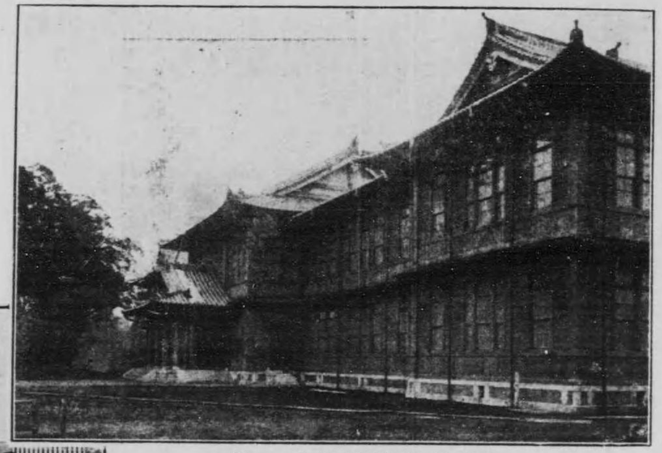
東京美術學校一覽目次

一本校校舍教室寫眞……一葉
一學年暦……一
一概要……三
一沿革略……八
一法令……一七
一商議委員規程……三〇
一東京美術學校規則……三一
總則……三二
學科課程……三三
學年學期及休業規程……四六
入學在學及退學規程……四七
特待生規程……五〇
休學規程……五一
試驗規程……五一
圖畫師範科規程……五三
研究生規程……五七
選科規程……六〇
別科生及聽講生規程……六二
授業料及其他ノ費用……六三
諸書式……六五
一各科授業要旨……七二
一生徒心得……九二
一東京美術學校文庫規則……九五
一職員……一〇〇
一生徒及特待生姓名……一一〇
一卒業生姓名、同在外者調……一三〇
一各科生徒級別現員表……二四五
一各科生徒道府縣別表……二四六
一各科卒業生就業別表……二五〇
一各科卒業生年別人員表……二五
一各科卒業生道府縣別表……二五
一奬學資金……二六〇
一敷地及建物……二六〇
一東京美術學校校友會規則……二六一
一敷地及建物略圖……一葉
一卒業生索引、同改姓名一覽……附錄

目次終

大正 8. 3. 18 寄贈

小校寄贈



東京美術學校校舍　其一

日本畫

彫刻科教室

圖案科教

五大
八〇四
書籍

東京美術學校一覽

學年暦

大正七年ヨリ大正八年ニ至ル

九月十一日　學年始マル
秋分　休業（秋季皇靈祭）
十月四日　休業（本校設置紀念日）
十月十七日　休業（神嘗祭）
十月三十一日　休業（天長節祝日）
十一月二十三日　休業（新嘗祭）
十二月二十四日　第一學期了ル
十二月廿五日ヨリ一月七日マデ　冬季休業
一月三日　休業（元始祭）
二月十一日　休業（紀元節）

漆工科教室

學校校舍　其二

圖畫師範科教室

科教室

三月上旬ヨリ同月中旬マデ　各科入學志願者ノ入學願書若クハ薦舉書ヲ受理ス

春分　休業（春季皇靈祭）

三月下旬　第二學期了リ、卒業期試驗終リ、卒業證書授與式ヲ行フ

四月一日ヨリ同月七日マデ　春季休業

四月三日　休業（神武天皇祭）

四月中旬ヨリ　各科新入學生ノ授業始マル

六月中旬ヨリ　學年試驗ヲ施行ス

六月下旬　豫備科授業終リ本科入學許否ヲ定ム

七月十日　第三學期了リ、學年終ル

七月十一日ヨリ九月十日マデ　夏季休業

七月三十日　休業（明治天皇祭）

八月三十一日　休業（天長節）

選科生ノ入學及聽講生ニ關シテハ隨時本校ヨリ之ヲ公告ス

概要

本校ハ明治二十年十月四日勅令第五十一號ヲ以テ設置セラレタルモノニシテ其ノ設備、組織、敷地、建物等ノ詳細ハ別ニ記スル所ノ如クナレドモ今其概要ヲ擧グレバ左ノ如シ

位置　本校ハ文部省直轄學校ノ一ニシテ東京市下谷區上野公園西四軒寺跡ニ在リ

敷地及建物　本校ノ敷地面積ハ壹萬六千五百五拾四坪六合四勺ニシテ此ニ建設セル建物ノ總坪數ハ四千六百七拾五坪五合二勺五才ナリ

教旨及分科　本校ハ美術及美術工藝等ニ從事スベキ專門ノ技術家並ニ普通教育ニ於ケル圖畫教員タルベキモノヲ養成スル所ニシテ前者ノ分科ハ日本畫、西洋畫、彫刻、圖案、金工、鑄造、漆工、製版、臨時寫眞ノ九科トシ其修業年限ハ日本畫科

ヨリ漆工科マデノ七科ハ豫備科及本科ヲ通ジ各五ケ年ニシテ各自ノ志望ニ由リテ此中ノ一科ヲ專修セシム卽チ豫備科ハ四月ヨリ七月マデ、本科ハ九月ヨリ翌年七月迄ヲ一學年トナシ最後(五ケ年目)ノ卒業期ハ九月ヨリ翌年三月迄ノ二學期トス

製版科及臨時寫眞科ハ三ケ年トシ毎年四月ヲ以テ入學ノ期トシ三月ヲ以テ卒業セシム後者ハ之ヲ圖畫師範科ト稱シ其修業年限ヲ三ケ年トシ師範學校其ノ他ノ中等學校ニ於ケル圖畫及手工教員タルニ適スル學科ヲ履修セシメ毎年四月ヲ入學ノ期トシ三月ヲ以テ卒業セシム又別ニ日本畫、西洋畫、圖案科中ノ志望者ニ限リ圖畫教員タル課程ヲ履修セシム此他選科ヲ置キテ專ラ實技ノミヲ教ヘ各科卒業生ニシテ尙其技術ヲ研究セムトスル者ノ爲ニ研究科ヲ置キ本校生徒以外ノ者ニシテ本校ニ於テ教授スル所ノ實技ヲ學修セムトスルモノノタメニ別科生規程ヲ、學科ヲ聽カムトスルモノノ爲ニ聽講生規程ヲ設ク

入學　本校各專門ノ科(製版科及臨時寫眞科ヲ除ク)ニ入學セムトスルモノハ豫備

科入學、本科入學トス卽チ豫備科ヘ入學スベキモノノ資格ハ本校規則第十條ニ規定セル中學校師範學校卒業者、又ハ專門學校入學試驗檢定ニ合格シタルモノ、檢定規程ニ依リテ無試驗檢定ヲ受クルコトヲ得ル者、工業學校卒業者等トシ毎年四月試驗ヲ施シ入學ヲ許否ス而シテ又本科ヘ入學スベキモノハ總テ豫備科ニ於ケル最後ノ試驗ニ合格シタルモノヨリ毎年九月ニ於テ之ヲ許シ不合格ノモノハ本校在學ノ資格ヲ失フモノトス

製版科及臨時寫眞科入學ノ資格及入學試驗ハ前項ニ同キモ唯此科ニハ豫備科ヲ置カズシテ毎年四月ニ於テ直ニ本科ニ入ラシムル

圖畫師範科入學ハ其資格略〻專門ノ科ニ入學スベキモノト同クシテ當該學校長ニ於テ薦擧シ其中ニ就キ毎年四月試驗ノ上本校長之ヲ選拔ス此科ノ生徒ハ服務ノ義務アリ授業料ヲ免除セラル

選科入學ハ本科生ニ缺員アル場合ニ於テ本校規則第十章ノ規程ニ依リ所選課目ノ

實技試驗及學科試驗(又ハ檢定)ヲナシ本人ノ願ニ依リ毎年九月其入學ヲ許ス

此他研究生ハ本校ヲ卒業シタルモノノ中願ニ依リテ入學ヲ許シ別科生聽講生モ亦願ニ基ヅキテ之ヲ許否スルモノトス

教務ノ分擔　各科教務ノ整理ヲ圖ル爲教務分掌規程ヲ設ケ各科教員中ニ主任、理事及擔任ヲ置キ其科ニ於ケル教務上ノ事項、教室內ノ秩序、生徒ノ勤惰其他教室ニ於ケル教務ヲ分擔セシム

商議委員　本校重要ノ事件ヲ商議スル爲商議委員ヲ置ク學校長ノ推薦ニ依リテ文部大臣之ヲ命ズ其人員ハ三名以上七名以下ニシテ任期ハ五ヶ年ナリ

職員　職員ノ定員ハ別項法令中ニ記スル所ノ如クナレドモ今其現在員ヲ擧グレバ學校長一人、教授三十人(內一人他校ヨリ兼務)助教授十三人、囑託二十四人、囑託指南二人、囑託校醫一人、雇(助手)十一人、書記六人、雇八人、外ニ休職教授一人アリ

卒業生及生徒　卒業生ハ明治二十二年二月授業ヲ開始セシ以來同二十四年七月初メヲ特別ノ課程卒業生ヲ出シ同二十六年七月ニ至リ本科卒業生ヲ出シタルヨリ本年ニ至ルマデ各科ヲ通ジ一千五百六十一人ニシテ現今生徒ノ數ハ合計六百十三人ナリ其詳細ハ卷末諸表ニ載スル所ノ如シ

經費　大正六年度ノ經費ハ政府支出金七萬八千百拾八圓、諸收入金六萬參千八百九拾圓、臨時政府支出金貳萬參千貳百拾貳圓、前年度繰入金參千貳百拾五圓ニシテ合計金拾六萬八千四百參拾五圓ナリ

奬學資金　本校設置以來寄贈ヲ受ケタル奬學資金ハ卷末ニ記スル所ノ如シ

文庫　文庫ハ本校授業上ノ參考ニ資スルタメ美術及美術工藝品並ニ之ニ關スル圖書標本ヲ收藏スル所ニシテ本校職員卒業生生徒ハ勿論相當ノ紹介アル技術家若クハ有志ノモノニハ無料ニテ收藏品ノ閲覽ヲ許セリ

沿革略

明治二十年十月四日勅令第五十一號ヲ以テ始メテ東京美術學校ヲ設置セラレ同年同月十四日文部省專門學務局長濱尾新ニ學校長事務取扱ヲ命ゼラル、是レヨリ先キ明治十七年七月文部省專門普通兩學務局ニ於テ委員ヲ設ケ圖畫教育ニ關スル事項ヲ調査セシメ延イテ翌十八年十一月ニ至リ學務一局(故ノ專門學務局)ニ圖畫取調掛ヲ置キ尋イデ是ヲ總務局ニ移シ二十年十月圖畫取調掛ヲ以テ東京美術學校トナス此時假リニ事務所ヲ小石川帝國大學附屬植物園内ニ置キ專ラ學校設立ノ準備ヲナシ二十一年十月三日本校規則ヲ創定シ同年十二月十日上野公園内ナル教育博物館ノ迹ニ移ス今ノ處卽チ是ナリ此ニ於テ生徒ヲ募集シ授業ヲ開始スルコトトナレリ

明治二十二年二月一日授業ヲ開始ス當時濱尾新學校長事務取扱タリ其學科課程ハ普通科二年專修科三年ニシテ普通科ノ實技ハ繪畫、造型ノ二者ヲ兼修セシメ專修科ニ

ハ繪畫、彫刻及美術工藝ノ三科ヲ設ケ美術工藝科ノ中ニ更ニ金工、漆工ノ二部ヲ分置セリ而シテ別ニ特別ノ課程一年ヲ設ケ普通科ヲ卒リ普通教育ノ圖畫教員タラムトスル者ニ課シタリ此中繪畫ハ日本畫ニ限リ造型トイヒ彫刻トイフハ唯木彫ヲ取リ金工ハ獨リ彫金ヲ用ヰタリ同年十二月、兩陛下御眞影ヲ下賜セラル

明治二十三年三月十九日規則中學科課程等ヲ改正ス同年六月二十七日幹事岡倉覺三代リテ學校長心得トナリ同年十月七日學校長ニ任セラル同月三十日　御親署教育勅語ヲ下賜セラル

明治二十五年十一月十九日規則ヲ改正シ普通科ヲ豫備ノ課程ト改稱シテ其年限ヲ一年トシ專修科ノ名ヲ廢シテ各本科ヲ四學年トシ美術工藝科ノ中ニ鑄金科ヲ新設シ又特別ノ課程ヲ廢シテ繪畫科中ニ於テ圖畫教員志望者ニ課スベキ課目(用器畫法及教育學)ヲ設ケ又別ニ圖畫講習科ヲ置キテ普通教育ノ圖畫教員ニシテ尙其ノ技術又ハ圖畫ニ關スル學科ヲ補修セムトスルモノノ入學ヲ許ス

明治二十七年五月ヨリ繪畫科彫刻科ノ教授方法ヲ分期教授ノ制トナシ本邦美術史上時代ニ依リテ著キ三種ノ様式アルニ基キ其各期ノ様式ヲ本トシテ教授セリ同年八月十日規則中學科課程ヲ改正シ同年十二月三日ニ至リテ復タ規則中入學規程第九條但書ヲ改正ス

明治二十八年九月五日美術工藝科中ニ新ニ鍛金科ヲ增設ス

明治二十九年七月八日マタ規則ヲ改正シ豫備ノ課程ヲ甲乙ノ二種ニ分チテ之レニ課スル實技ニ差異ヲ立テ其甲種ヲ繪畫科、圖案科、蒔繪科ニ入ルモノニ課シ乙種ヲ彫刻科、彫金科、鍛金科、鑄金科ニ入ルモノニ課シ繪畫科中ニ日本畫ト西洋畫トノ二部ヲ設ケマタ圖案科ヲ新設ス

明治三十一年三月二十九日女子高等師範學校長高嶺秀夫兼務ヲ以テ代リテ學校長タリ同年七月授業ノ方法ヲ改正シ日本畫科及彫刻科分期教授ノ制ヲ廢シテ日本畫科ノ實技ヲ臨摸、寫生、新案ノ三部トシ彫刻科ノ實技ヲ木彫及塑造ノ二部トシテ之レヲ

修メシメ又西洋畫科ニ油畫教室及木炭畫教室ヲ新設シ豫備乙種ニ課スル彫塑ヲ專ラ塑造トシ其繪畫ヲ洋畫ノ素描トシ豫備甲種ノ繪畫ハ日本畫、圖案及漆工科ニ入ルベキモノニ日本畫ヲ課シ西洋畫科ニ入ルベキモノニ洋畫ノ素描ヲ課スルコトトシ圖案科ニ水彩畫ヲ傍修セシメ彫金、鍛金、鑄金科ニ塑造ヲ併課ス同年十二月二十二日帝國博物館主事兼理事久保田鼎兼務ヲ以テ學校長心得トナル

明治三十二年九月彫刻科中ニ塑造科ヲ新設シ又木彫科ノ寫生ハ塑土ヲ以テ學修セシムルコトトセリ

明治三十三年一月十八日久保田鼎學校長ニ任ゼラル同年八月規則中圖畫講習科規程ヲ改正ス同年十二月規則中豫備ノ課程ニ課スル學科ノ一部ト入學規程中第九條但書並ニ入學試驗課目中改正ス

明治三十四年二月規則中圖畫講習科規程及授業料規程ヲ改正シ同年五月入學試驗料及同手數料ヲ改メ並ニ假入學生授業料ヲ定メ又彫刻科ノ學科課程ヲ改正シ同科中ノ

分科ヲ廢ス同年八月九日文部視學官正木直彦代リテ學校長トナル
明治三十七年八月十二日ヨリ同年十一月十四日マデ正木學校長米國出張ニ付教授高村光雲校務ヲ代理ス
明治三十八年三月本校規則全部ヲ改正シ四月ヨリ七月ニ至ル間ノ假入學ノ制ヲ廢シテ豫備科ヲ置キ彫金鍛金ノ二科ヲ合シテ金工科トシ鑄金科ヲ鑄造科ト改メ而シテ豫備科及ヒ本科ヲ通シテ在學年限ヲ五ヶ年間トシ最後ノ二學期間ハ專ラ卒業製作ニ從事セシメ毎年三月ヲ以テ卒業ノ期トナセリ
明治三十九年五月舊帝國圖書館ノ煉瓦造三階建倉庫一棟木造二階建閲覽室一棟ヲ本校ニ借入ルルノ約成リ同年七月本校文庫ヲ此ニ移ス同年九月ヨリ日本畫科ノ授業ヲ分チテ新館本館ノ二教室トシ各主任ヲ置キ生徒ノ志望ニ依リテ此中何レカノ教室ニ就キテ學修セシムルコトトナセリ
明治四十年六月五日文部省令第十八號ヲ以テ圖畫師範科ヲ增設セラレ同省令第十九

號ヲ以テ同科卒業者服務規程ヲ定メラレ同年七月本校規則ヲ改正シ圖畫師範科ノ學科目及規程ヲ加ヘ講習科規程ヲ廢セリ同年七月ヨリ本校新築並ニ改築ノ事業ニ著手ス蓋シ本校校舍ハ明治十年ニ建築シタル元教育博物館ノ建物ヲ以テ充テタルガ爲設備ノ不完全ナルノミナラズ逐年朽腐破損甚シキヲ加フルガ故ニ茲ニ始メテ四ケ年ノ繼續事業トシテ此計畫ヲ見ルニ至レリ同年十一月彫刻科ノ學科課程ヲ改メ同科ヲ分チテ塑造、木彫、牙彫ノ三部トナセリ
明治四十一年三月舊帝國圖書館敷地三千七百坪並ニ煉瓦造三階建倉庫、木造二階建閲覽室及煉瓦造二階建倉庫ヲ本校所管ニ移サル同年九月日本畫科ハ從來二教室ニ分チテ授業シタリシガ更ニ其制ヲ改メ第一、第二、第三ノ三教室ニ分チテ各主任ヲ置キ生徒ノ志望ニ依リテ此中何レカノ教室ニ就キテ學修セシムルコトトセリ
明治四十二年六月新築中ナリシ圖案科、金工科、鑄造科、漆工科ノ一棟及化學教室ノ一棟落成シ同年九月ヨリ各新築校舍ニ於テ授業ヲ開始セリ

明治四十三年二月二日ヨリ同年十一月二十日マデ正木學校長英國出張ニ付教授高村光雲校務ヲ代理ス同年三月九日本校規則ノ一部ヲ改正シ同月十日文部省令第二號ヲ以テ圖畫師範科卒業者服務規程ヲ改正セラル同年十一月一日文部省令第二十七號ヲ以テ同科規程學科目中「倫理」ヲ「修身」ト改メラル

明治四十四年一月二十五日、日本畫科、西洋畫科ノ一部、彫刻科、圖畫師範科ノ各教室講義室等火災ニ罹リタルヲ以テ日本畫科、西洋畫科、彫刻科ハ當時新築中ナリシ校舍ヘ移シ圖畫師範科ハ鑄造科ノ階上ニ於テ授業セリ

大正元年十二月十八日文部省令第五號ヲ以テ圖畫師範科規程第四條中改正セラル之レ從來同科生徒ハ地方長官ヨリ薦擧シタルヲ當該學校長ヨリノ薦擧ニ改メラレタルナリ同月二十五日省令改正ニ基ヅキテ本校規則中圖畫師範科規程中改正ス

大正二年十月八日文部省告示第百六十七號ヲ以テ教員無試驗檢定指定學校中ニ圖畫科教員トシテ本校日本畫科西洋畫科圖案科（在學中教員タル課程ヲ履修シ成績優等ノ者）ヲ加ヘラル蓋シ從來

本校日本畫科西洋畫科圖案科中ニ設クル所ノ圖畫教員タルベキ特別ノ課程ハ明治四十年本校規則ノ改正ニ伴ヒ當時ノ現在生徒ニハ之ヲ課シタルモ既ニ悉ク卒業シ終リタルヲ以テ更ニ此告示ヲ見ルニ至リシナリ

大正三年三月三十一日、去ル明治四十年ヨリ四ヶ年繼續事業トシテ著手セラレタル本校新築改築ノ工事ハ其後事業繰延等ノ爲年限ヲ延長セラレタルガ此日ヲ以テ全部竣成ヲ告ゲタリ同年六月十九日勅令第百二十四號ヲ以テ文部省直轄學校ノ教育ニ付功勞アル者ニハ名譽教授ノ名稱ヲ與フルコトヲ得ル旨公布セラル同年九月五日文部省令第二十八號ヲ以テ本校各科（圖畫師範科ヲ除ク）ノ規程ヲ定メラレタリ而シテ此省令ニ依リテ豫備科ハ各科ニ分屬セラレ圖案科ハ第一部（工藝圖案）第二部（建築裝飾）ニ分タレ又新タニ製版科ヲ設置セラレタリ同年九月十一日ヨリ此月五日發布セラレタル文部省令第二十五號及第二十七號ニ基ヅキテ東京高等工業學校ノ工業圖案科同校付設工業教員養成所ノ工業圖案科、同職工徒弟學校製版科生徒ノ教育ヲ本校

ニ委託セラレ本校ニ於テ教授スルコトトナレリ同年十二月二十八日本年省令第二十八號ニ依リテ本校規則ヲ改正ス卽チ豫備科ノ分屬圖案科ノ分設製版科ノ新設及ビ別科生ヲ置キタル等重モナル改正事項ナリトス

大正四年二月二十日文部省令第三號ヲ以テ本校規程中改正シ製版科ノ次ヘ臨時寫眞科ヲ置キ其學科課程ヲ定メラル同年十月二十一日　天皇陛下御眞影ヲ下賜セラル同年十二月二十七日初メテ本校ニ生徒監ヲ置カル

大正五年六月三十日勅令第百七十四號ヲ以テ直轄學校長ニシテ十五年以上高等官二等ニ在リ功績顯著ナルモノハ人員ヲ限リテ高等官一等ニ陞叙スルヲ得ル旨公布セラル同年十月二十一日　皇后陛下御眞影ヲ下賜セラル

大正七年六月二十七日文部省告示第百七十四號ヲ以テ本校日本畫科西洋畫科及圖案科ニ對スル圖畫指定ノ條件ヲ「本科在學中學校所定ノ教員志望者課程ヲ兼修セシ者ニ限ル」ト改メラル

以上ヲ本校沿革ノ概要トス

法令

○勅令第六十一號抜抄　（明治三十六年三月二十七日發布）

專門學校令

第一條　高等ノ學術技藝ヲ教授スル學校ハ專門學校トス

專門學校ハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外本令ノ規定ニ依ルベシ

第五條　專門學校ノ入學資格ハ中學校若クハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スルモノト檢定セラレタル者以上ノ程度ニ於テ之ヲ定ムベシ但美術音樂ニ關スル學術技藝ヲ教授スル專門學校ニ就テハ文部大臣ハ別ニ入學資格ヲ定ムルコトヲ得

前項檢定ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第六條　專門學校ノ修業年限ハ三箇年以上トス

第七條　專門學校ニ於テハ豫科、研究科及別科ヲ置クコトヲ得

第八條　官立專門學校ノ修業年限、學科、學科目及其ノ程度並豫科、研究科及別科ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

公立又ハ私立ノ專門學校ノ修業年限、學科、學科目及其ノ程度並豫科、研究科及別科ニ關スル規程ハ公立學校ニ在リテハ管理者、私立學校ニ在リテハ設立者、文部大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ定ム

第十二條　第一條ニ該當セザル學校ハ專門學校ト稱スルコトヲ得ズ

附　則

第十六條　千葉醫學專門學校(中略)東京美術學校及東京音樂學校ハ本令施行ノ日ヨリ專門學校トス

○勅令第八十六號抜抄　(明治二十六年八月二十五日發布)(以後ノ改正年月日略ス)

文部省直轄諸學校官制

第一條　文部省直轄諸學校ハ左ノ如シ

東京美術學校　(他校略之)

第六條　文部省直轄諸學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長　教授　生徒監

助教授　書記

第七條　校長ハ勅任又ハ奏任トス文部大臣ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス

第八條　教授ハ勅任又ハ奏任トシ助教授ハ判任トス生徒ノ教育ヲ掌ル

第九條　生徒監ハ奏任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

生徒監ハ校長ノ指揮ヲ承ケ專ラ生徒ノ訓育ヲ掌ル

第十條　書記ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ從事ス

第十七條　專任教官中其ノ學校所設ノ某學科ヲ擔任スベキ者ヲ得ザル場合ニ於テハ兼任教官ヲ置キ若クハ學校長ニ於テ特ニ文部大臣ノ許可ヲ得テ臨時ニ講師ヲ囑託シ其ノ學科ノ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得

第十九條　文部大臣ハ校務上ノ須要ニ依リ學校ニ商議委員會ヲ設クルコトアルベシ其ノ委員ハ文部大臣之ヲ命ス

○勅令第九十九號拔抄　（明治三十五年三月二十八日發布）（以後ノ改正年月日略ス）

文部省直轄諸學校專任職員ノ定員左ノ如シ

東京美術學校

學校長　一人

教授　二十九人

助教授　二十一人

書記　六人

○勅令第百三十四號拔抄　（明治四十三年三月二十六日發布）（以後ノ改正年月日略ス）

高等官官等俸給令

第九條ノ五　文部省直轄學校長ニシテ十五年以上高等官二等ニ在リ功績顯著ナル者ハ高等師範學校長女子高等師範學校長ヲ通ジテ一人、實業專門學校長二人、醫學專門學校長一人、高等學校長其他ノ直轄學校長ヲ通ジテ一人ヲ限リ特ニ高等官一等ニ陞叙スルコトヲ得

第十條第三項　文部省直轄諸學校教授ニシテ五年以上高等官三等ニ在リ功績アルモノハ二十七人ヲ限リ高等官二等ニ陞叙スルコトヲ得但シ各校二人ヲ超ユルコトヲ

得ス

第十二條　奏任文官ノ俸給ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外別表第二表各號ノ一ニ依ル

第十三條　別表第二表(中略)第五號ニ依ルモノハ高等官三等以下トス

第廿二條　別表第二表第五號ニ依ル諸官左ノ如シ

文部省直轄諸學校教授(他官略之)

第廿三條　別表第二表(中略)第五號ニ依ル職員ハ一級俸ヲ受ケ在職五年以上ニ至リ功績アルモノニ限リ五百圓以内ノ年功加俸ヲ給シ(下略)

第五號ニ依ル諸官及奏任技術官ハ各廳事務ノ繁閑ニ依リ俸給最低額以下ヲ給スルコトヲ得

(第一表)

文武高等官官等表

文部省直轄諸學校長(東京盲學校長、東京聾唖學校長ヲ除ク)　二等乃至五等

(第二表第五號)

奏任文官年俸表

一級	三、〇〇〇	二級	二、七〇〇	三級	二、五〇〇	四級	二、二〇〇
五級	二、〇〇〇	六級	一、七〇〇	七級	一、五〇〇	八級	一、二〇〇
九級	一、一〇〇	十級	一、〇〇〇	十一級	八五〇	十二級	七五〇

(第五表)

文部省直轄諸學校長(東京盲學校長、東京聾唖學校長ヲ除ク)

一級	三、七〇〇	二級	三、〇〇〇	三級	二、七〇〇	四級	二、五〇〇
五級	二、二〇〇						

○勅令第百五十四號拔抄　(明治四十三年三月二十六日發布)

文部省直轄諸學校教官俸給ノ支給ニ關スル件

第一條　文部省直轄諸學校教官ノ俸給ハ其ノ授業ノ時間又ハ學科ノ難易輕重ニ依リ最低額以下ヲ給スルコトヲ得

第二條　文部省直轄諸學校教官ニシテ一校又ハ數校ノ教官ヲ兼任スル者ニハ本官及兼官ニ於ケル授業ノ時間又ハ學科ノ難易輕重ニ依リ其ノ俸給額ヲ分割シテ各學校ヨリ給スルコトヲ得

第三條　文部省直轄諸學校ノ囑託講師ニハ教官俸給額ノ中ヨリ相當ノ手當ヲ給スルコトヲ得

○文部省令第二十八號　（大正三年九月五日發布）（大正四年二月二十日省令第三號改正）

東京美術學校ノ修業年限、學科、學科目及其ノ程度、研究生及選科生ニ關スル規程左ノ通定ム

東京美術學校規程

第一條　東京美術學校ノ學科ヲ分チテ日本畫科、西洋畫科、彫刻科、圖案科、金工科、鑄造科、漆工科、製版科及臨時寫眞科トス

製版科及臨時寫眞科ヲ除キ各學科ニ豫備科ヲ置ク

第二條　東京美術學校ノ修業年限ハ豫備科ヲ通シテ五箇年トス但シ製版科及臨時寫眞科ノ修業年限ハ三箇年トス

第三條　各學科ノ學科及其ノ程度ハ左ノ如シ

（學科目及毎週教授時數表略之）

學校長ハ臨時必要ト認ムル場合ニ於テハ前表ノ毎週教授時數ヲ增減シ若ハ科外講義ヲ開クコトヲ得

第四條　卒業者ニシテ既修ノ學科ニ就キ更ニ研究セントスルモノハ研究生トシテ三箇年以內在學セシムルコトヲ得

第五條　各學科ノ學科目中一科目若ハ數科目ヲ選擇シテ學修セントスル者ハ選科生

トシテ入學セシムルコトヲ得

○文部省令第十八號（明治四十年六月五日發布）（明治四十三年十一月一日省令第廿七號改正）（大正元年十二月十八日省令第五號改正）

東京美術學校圖畫師範科ノ修業年限、學科目及其ノ程度並入學ニ關スル規程ヲ定ムルコト左ノ如シ

東京美術學校圖畫師範科規程

第一條　東京美術學校圖畫師範科ノ修業年限ハ三箇年トス

第二條　東京美術學校圖畫師範科ノ學科目ハ修身、教育學及教授法、美學及美術史、解剖學、圖案法、自在畫、幾何畫法、手工、習字、英語、教授練習及體操トス

第三條　前條各學科目ノ毎週教授時數ハ左ノ如シ

（學科目及毎週教授時數表略之）

學校長ハ臨時必要ト認メタル場合ニ於テハ前項各學科目ノ毎週教授時數ヲ增減シ

若ハ科外講義ヲ開クコトヲ得

第四條　東京美術學校圖畫師範科ニ入學ヲ許可スヘキ者ハ師範學校又ハ中學校ヲ卒業シタル者及專門學校入學者檢定規程ニ依リ檢定ヲ受ケタル者ニシテ年齡二十四年以下身體健全品行方正ナル男子ニ就キ當該學校長之ヲ薦舉シ東京美術學校長其ノ中ヨリ試驗ノ上之ヲ定ム

必要ト認メタルトキハ東京美術學校長ハ前項學校長ノ薦舉ニ依ラズシテ入學ヲ許可スルコトヲ得

第五條　生徒ニ缺員アルトキハ東京美術學校長ハ前條ノ資格ヲ有シ且當該學年ニ相當スル學力ヲ有スル者ニ就キ試驗ノ上入學ヲ許可スルコトヲ得

○文部省令第二號（明治四十年六月五日發布）（明治四十三年三月十日改正）

明治四十年文部省令第十九號東京美術學校圖畫師範科卒業者服務規程ヲ改正スルコ

ト左ノ如シ

東京美術學校圖畫師範科卒業者服務規則

第一條　東京美術學校圖畫師範科卒業者ハ卒業證書受得ノ日ヨリ左ノ期間引續キ教育ニ關スル職務ニ從事スル義務ヲ有ス

一　學資ノ支給ヲ受ケタル者ハ五箇年

二　學資ノ支給ヲ受ケザル者ハ二箇年

第二條　東京美術學校圖畫師範科卒業者ハ卒業證書受得ノ日ヨリ左ノ期間文部大臣ノ指定ニ從ヒ奉職スル義務ヲ有ス

一　學資ノ支給ヲ受ケタル者ハ二箇年

二　學資ノ支給ヲ受ケザル者ハ一箇年

第三條　東京美術學校圖畫師範科卒業者ニシテ特別ノ事情ニ依リ第一條ノ義務ヲ履行スルコト能ハザル者ハ其ノ理由ヲ具シ東京美術學校長又ハ地方長官ヲ經テ義務

ノ猶豫又ハ免除ヲ文部大臣ニ出願スルコトヲ得

前項ニ依リ出願シタル者アルトキハ東京美術學校長又ハ地方長官ハ事實ヲ審査シ意見ヲ具シテ願書ヲ進達スヘシ

第四條　東京美術學校圖畫師範科卒業者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者アリタルトキハ文部大臣ノ指揮ニ依リ學資ノ支給ヲ受ケタル者ニ在リテハ其ノ在學中ニ於ケル授業費及學資、學資ノ支給ヲ受ケザル者ニ在リテハ授業費ヲ償還セシム但シ情狀ニ依リ其ノ全部又ハ一部ヲ免除スルコトアルベシ

一　第一條ノ義務ヲ履行セザル者

二　服務年限中懲戒免職又ハ免許狀褫奪ノ處分ヲ受ケタル者

前項授業費ノ金額ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ學校長之ヲ定ムベシ

第五條　東京美術學校圖畫師範科卒業者ニシテ服務年限中研究科等ニ入學セムトスル者アルトキハ時宜ニ依リ許可スルコトアルベシ

第六條　東京美術學校圖畫師範科卒業者ニシテ第三條ニ依リ其義務ヲ猶豫セラレタルトキ又ハ前條ニ依リ研究科等ニ入學シタルトキハ其ノ猶豫又ハ在學ノ期間ハ服務年數ニ算入セズ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ施行ス

本令施行以前ニ入學シタル者ノ服務年限ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

商議委員規程

（明治二十一年三月二十三日制定）

第一條　本校重要ノ事件ヲ商議スル爲商議委員ヲ置ク

第二條　商議委員ハ三名以上七名以下トシ學校長ノ推薦ニ依リテ文部大臣之ヲ命ズ

第三條　商議委員會ノ會議ニ附スベキモノハ學科課程重要ノ諸規則經費ノ豫算其他本校ノ利害ノ消長ニ關スル事項トス

但學校長ノ見込ニ依リ尙此他ノ事項ヲ會議ニ附スルコトヲ得

第四條　商議委員會ノ議案ハ學校長之ヲ提出スルモノトス

第五條　商議委員會ハ學校長ヲ以テ會長トシ委員半數以上出席スレバ議事ヲ結了スルコトヲ得

第六條　商議委員ハ五ケ年ヲ以テ任期トス任期滿ツルノ後時宜ニ依リ更ニ勤續ヲ命ズルコトアルベシ

東京美術學校規則

（大正四年二月改正）

目　次

第一章　總則
第二章　學科課程
第三章　學年學期及休業規程
第四章　入學在學及退學規程

第五章　特待生規程
第六章　休學規程
第七章　試驗規程
第八章　圖畫師範科規程
第九章　研究生規程
第十章　選科生規程
第十一章　別科生及聽講生規程
第十二章　授業料及其他ノ費用

第一章　總則

第一條　本校ノ學科ハ日本畫科、西洋畫科、彫刻科、圖案科、金工科、鑄造科、漆工科、製版科及臨時寫眞科ヲ本科トシ各專門ノ技術家ヲ養成スルヲ主旨トス

圖畫師範科ハ師範學校、中學校、高等女學校ノ圖畫教員タルベキモノヲ養成スルヲ主旨トス

前項ノ外豫備科ヲ置ク

第二條　本校各科ノ修業年限ヲ定ムルコト左ノ如シ

製版科及臨時寫眞科ヲ除ク外各本科ハ豫備科ヲ通ジテ五箇年トシ入學ノ始ニ於テ

一學期間豫備科ヲ履修セシメ最後ノ二學期ハ專ラ卒業製作ニ從事セシム

製版科及臨時寫眞科并ニ圖畫師範科ハ三箇年トス

第二章　學科課程

第三條　豫備科、本科及圖畫師範科ノ課目并ニ其程度左ノ如シ

日本畫科

課目	毎週教授時數				
	豫備科	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	卒業期
修身	一	一	一	一	一	不定時
實習	二四	三一	二九	三一	三三	卒業製作不定時
解剖學		二	二			
遠近法				二		
圖案法			二			
美學及美術史		東洋繪畫史二	東洋繪畫史二	美學二		
歷史及考古學	歷史三				風俗史二	

外國語	二	二	二	二
用器畫法	八		(三)	二
木炭畫 鉛筆畫 水彩畫		(四)	(四)	(四)
教育學及教授法			(三)	二
體操	二	二	二	二
計	四〇	四〇	四〇	四〇

備考　表中括弧内ノ時數ハ圖畫教員志望者ニ限リ實習時間内ニ於テ之ヲ課スシム
外國語ハ英語佛語ノ中其ノ一ヲ撰擇セシム

西洋畫科

課目	毎週教授時數				
	豫備科	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年
修身	一	一	一	一	一
實習	二四	三一	二九	二九	三三
解剖學		二		二	
遠近法			二		
					卒業製作不定時
				卒業期 不定時	

美學及美術史		西洋繪畫史二	西洋繪畫史二	西洋彫刻史二	美學 二
歷史及考古學	歷史 三	西洋考古學二	風俗史 二		
外國語	二	二	二	二	二
用器畫法	八			(三)	
毛筆畫		(四)	(四)	(四)	
教育學及教授法				(三)	
體操	二	二	二	二	二
計	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇

備考　表中括弧内ノ時數ハ圖畫教員志望者ニ限リ實習時間内ニ於テ之ヲ課スシム
外國語ハ英語佛語ノ中其ノ一ヲ選擇セシム

彫刻科

課目	毎週教授時數				
	豫備科	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年
修身	一	一	一	一	一
塑造實習	一六	二七	二七	二七	三三
木彫及塑造實習	木彫 一九 塑造 一八	一九 一八	一九 一八	二三 一〇	卒業製作不定時
				卒業期 不定時	

課目	豫備科	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	卒業期
牙彫及塑造實習		牙彫 一九 塑造 一八	一九 一八	一九 一八	二三 一〇	
繪畫實習	一六	四	四			
解剖學		二	二			
遠近法				二		
美學及美術史		東洋彫刻史二		西洋彫刻史二 西洋建築史二	美學 二	
歷史及考古學	歷史 三		西洋考古學二	風俗史 二		
外國語	二	二	二	二	二	
體操	二	二	二	二	二	
計	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	

備考　彫刻科ヲ分チテ塑造部木彫部牙彫部トシ其ノ一ヲ選擇シ同一ノ科目ヲ引續キ專修セシム
塑造部ニハ塑造、木彫部ニハ木彫及塑造、牙彫部ニハ牙彫及塑造ノミヲ課ス
外國語ハ英語佛語ノ中其ノ一ヲ選擇セシム

圖案科

課目	部別	每週教授時數 豫備科	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	卒業期
修身	第一、二部	一	一	一	一	一	不定時
實習	第一部	八	一六	一八	二〇	一八	三九
製圖	第二部	九	一二	一四	一八	二一	二七
繪畫	第一部 第二部	一八 七	九 七	九 七	九 七	九 七	 九
圖案法	第一部 第二部		 二			 二	
塑造	第二部	四	四	四	三		
工藝製作法	第一部	四	四	四	三		
理學	第二部	數學 力學 六	數學 地質學 測量 三				
建築學	第一部 第二部	建築學大意二 建築學大意二	建築構造 建築材料 建築意匠 四	建築構造 日本建築 鐵骨鐵筋構造 建築意匠 五	家具製作及裝飾法 建築意匠 四 建築科學 一	施工法 裝飾法 色彩學 三	特別講義三
美學及美術史	第一部 第二部		西洋建築史二 西洋建築史三	東洋建築史二 東西建築史三	東西建築史二	美學二 美學二	
用器畫法	第一部 第二部	四 四	二 二	二 二		(三)	
歷史及考古學	第一部 第二部	歷史 三 三			風俗史 二		
外國語	第一、二部	二	二	二	二	二	

教育學及教授法	第一、二部			
體操	第一、二部	二	二	二
計		四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	三九以上

備考　圖案科ヲ分チテ第一部第二部トス第一部ニ於テハ主トシテ工藝圖案ヲ教授シ第二部ニ於テハ主トシテ建築裝飾ヲ教授ス
表中括弧内ノ時數ハ圖畫教員志望者ニ限リ實習時間内ニ於テ之ヲ課ス
外國語ハ第一部ニ於テハ英語佛語ノ中其ノ一ヲ擇択セシメ第二部ニ於テハ英語ヲ課ス

金工科

課目	豫備科	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	卒業期
	毎週教授時數					
修身	一	一	一	一	一	不定時
彫金實習		一二	一六	一二	一二	
鎚起實習		一〇	一〇	八	一〇	卒業製作不定時
鎚金實習				八	八	
塑造實習	一七	八				
繪畫及圖案	一八	四	四	四	四	

圖案法				
金工史及製作法	製作法 一	製作法 一	金工史 一	二
工藝化學		金屬及合金二實驗 三		
外國語	二	二	二	
體操	二	二	二	
計	四〇	四〇	四〇	

備考　外國語ハ英語佛語ノ中其ノ一ヲ選擇セシム

鑄造科

課目	豫備科	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	卒業期
	毎週教授時數					
修身	一	一	一	一	一	不定時
實習		二二	一八	二〇	二〇	卒業製作不定時
塑造實習	一七	八				
蠟型實習		八	八	八	八	

繪畫及圖案	一八	四	四	四	四
圖案法		二			
金工史及製作法		製作法 一	製作法 一	金工史 一	
工藝化學			金屬及合金二 實驗 三		
機械學大意					
外國語	二	二	二	二	二
體操	二	二	二	二	二
計	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇

備考 外國語ハ英語佛語ノ中其ノ一ヲ選擇セシム

漆工科

課目	豫備科	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	卒業期
	每週授時數					
修身	一	一	一	一	一	不定時
蒔繪實習	一七	三〇	二六	二六	二七	卒業製作不定時
調漆實習						

彫鏤實習					
繪畫及圖案	一八	四	四	四	三
圖案法		二			
漆工史及製作法		製作法 一	漆工史 一		
歷史及考古學			風俗史 二		
工藝化學			漆及塗料 二 實驗 三		
外國語	二	二	二	二	二
體操	二	二	二	二	二
計	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇

備考 外國語ハ英語佛語ノ中其ノ一ヲ選擇セシム

製版科

課目	第一學年	第二學年	第三學年
	每週授時數		
修身	一	一	一

課目	第一學年	第二學年	第三學年
數學	二	二	二
物理學	一	一	一
化學	二	二	二
化學實驗	三	三	三
色彩學	一	一	一
光化學			
寫眞術大意	二	二	二
印刷術			
製版術	二	二	二
材料及藥品		二	二
圖案法		二	二
製圖	三		
繪畫及圖案	四	四	四
美學		二	二
實習	一五	一八	三〇

臨時寫眞科

課目	每週教授時數 第一學年	第二學年	第三學年
外國語 英語	二	二	二
體操	二	二	二
計	四〇	四〇	四〇
修身	一	一	一
數學	二		
物理學	一		
化學	二	二	二
化學實驗	三		
色彩學	一		
光化學		一	一
寫眞術	二	二	二

圖畫師範科

課目	毎週教授時數 第一學年	第二學年	第三學年
製版術大意			
材料及藥品			
圖案法		二	二
繪畫及圖案	四	四	四
美學		二	二
解剖學	二		
遠近法	二		
實習	一六	一八	三〇
外國語	英語 二	英語 二	二
體操	二	二	二
計	四〇	四〇	四〇
修身	一	一	一
教育學及教授法	二	二	二
美學及美術史	二	二	二
解剖學	二		
圖案法		二	二
自在畫	一九	一九	一九
幾何畫法	三	三	二
手工	四	四	二
習字	二	二	
英語	二	二	
教授練習			一〇
體操	二	二	二
計	三九	三九	三九

第四條　臨時必要ト認ムル場合ニ於テハ第三條ノ毎週教授時數ヲ增減シ若クハ科外講義ヲ開クコトアルベシ

第三章　學年學期及休業規程

第五條　學年ハ九月十一日ニ始マリ七月十日ニ終ル

第六條　學年ヲ分チテ左ノ三學期トス

第一學期　九月十一日ヨリ十二月二十四日ニ至ル

第二學期　一月八日ヨリ三月三十一日ニ至ル

第三學期　四月八日ヨリ七月十日ニ至ル

第七條　授業ハ九月十一日ヨリ十月三十一日マデ及四月八日ヨリ七月十日マデハ毎日午前八時ニ始マリ午後四時ニ終リ十一月一日ヨリ翌年三月三十一日マデ午前八時三十分ニ始マリ午後四時ニ終ル

第八條　休業ハ冬季ハ十二月二十五日ヨリ一月七日ニ至ル二週間、春季ハ四月一日ヨリ七日ニ至ル一週間、夏季ハ七月十一日ヨリ九月十日ニ至ル二箇月間トシ日曜日大祭日祝日及本校設置紀念日ハ休業ス

第四章　入學在學及退學規程

第九條　豫備科生徒入學ノ期ハ毎年四月ノ初トス

第十條　豫備科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ年齡滿十七年以上滿二十六年以下ノ男子ニシテ品行善良身體健全且左ノ資格ノ一ヲ具フル者トス

一　官公立中學校及徵兵令第十三條ニ依リ認定ヲ受ケタル私立中學校卒業者

二　專門學校入學者檢定規程ニ依ル試驗檢定ニ合格シタル者

三　專門學校入學者檢定規程第八條ニ依ル無試驗檢定ヲ受クルコトヲ得ル者

四　徵兵令第十三條ニ依リ認定ヲ受ケタル工業學校卒業者

五　地方長官ノ許可ヲ得タル師範學校卒業者

第十一條　前條學校ニ在學中ノ生徒ニシテ三月末ニ卒業スベキ見込アリト當該學校長ノ豫定證明スルモノニ限リ卒業生ニ準ズルコトヲ得

但本條ニ依リシモノ卒業シタルトキハ隨時本校ニテ定ムル期限內ニ卒業試驗成

績證明表ヲ提出スベシ若シ其手續ヲナサザルトキハ入學ノ資格ヲ失フモノトス

第十二條　入學志願者ニハ總テ試驗ヲ施シ入學ヲ許否ス

第十三條　本科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ豫備科ヲ修了シタル者トス

第十四條　入學ヲ出願スル者ハ手數料トシテ金參圓ヲ本校收入官吏ニ納付スベシ

但一旦納付シタル手數料ハ如何ナル事故アリト雖モ之ヲ返付セズ

第十五條　入學ヲ出願スル者ハ入學願書（第一號書式）ニ左ノ書類ヲ添ヘ差出スベシ

一　學業履歴書（第二號書式）

一　當該學校長ノ卒業試驗成績證明表又ハ試驗檢定合格證書

一　學校醫又ハ其資格ヲ有スル醫師ノ身體檢査書（第三號書式）

一　戸籍謄本

一　最近一年內ニ撮影セシ手札形寫眞（但半身脫帽ノモノタルベク裏面ニ氏名及撮影ノ年月日ヲ漢字ヲ以テ明記スベシ）

第十六條　第十條第五號ニ該當スルモノハ前條書類ノ外ニ地方長官ノ許可證ヲ添付スルコトヲ要ス

第十七條　生徒其ノ氏名族籍ヲ變更シ又ハ其ノ居所ヲ轉ジ若クハ改印シタルトキハ直ニ其旨ヲ屆出ヅベシ

第十八條　生徒ハ入學後二週間以內ニ自費ヲ以テ本校制定ノ服帽ヲ調製著用スベシ

第十九條　生徒疾病其ノ他事故アリテ缺課スルトキハ其ノ理由及日限ヲ記シ當日又ハ翌日中ニ屆出ヅベシ若シ病氣缺課七日以上ニ及ブトキハ醫證ヲ添ヘ差出スベシ

第二十條　生徒ニシテ引續キ一箇年以上缺席シタル者又ハ正當ノ理由ナクシテ引續キ一箇月以上缺席シタル者ハ除名ス

第二十一條　生徒學業成達ノ目途ナキ者ハ除名ス

第二十二條　生徒怠惰不行狀又ハ本校ノ規則命令ニ背戾シ若クハ校ノ內外ヲ問ハズ風紀ヲ紊ス等ノ行爲アルトキハ其ノ情狀ノ輕重ニ依リ譴責、停學、除名、放校ニ

處ス

第二十三條　生徒一學年間學業ヲ精勵シタルモノニハ證狀又ハ賞品ヲ與ヘテ之ヲ表彰スルコトアルベシ

第二十四條　生徒疾病其他ノ事故ニ依リ退學セントスルモノハ其ノ理由ヲ詳記シ疾病ニ由ル者ハ醫證ヲ添ヘ願出ヅベシ

第二十五條　生徒一旦退學セシ者再入學ヲ願出ヅルトキハ退學當時ノ情狀ヲ調査シ學年ノ始メニ於テ原級以下ニ編入スルコトアルベシ

第五章　特待生規程

第二十六條　學業品行殊ニ優等ナル生徒ヲ選ビ之ヲ特待生トナシ一學年間ノ授業料ヲ免除ス

第二十七條　特待生ニシテ不都合ノ行爲アリタル時ハ直ニ特待生タルコトヲ止ム

第六章　休學規程

第二十八條　生徒正當ノ事故ニ由リ引續キ五箇月以上修學スルコト能ハザルトキハ豫メ學校長ノ許可ヲ得テ其學年間休學スルコトヲ得

第二十九條　休學セントスル生徒ハ事故ニ由ル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ病氣ノ者ハ醫證ヲ添ヘ願出ヅベシ

第三十條　本規程ニヨリ休學スル生徒ヨリハ授業料ヲ徵收セズ

第七章　試驗規程

第三十一條　評點ヲ分チテ學期評點及學年評點トス

學期評點ハ毎學期ニ試驗ヲ行ヒテ之ヲ定メ學年評點ハ別ニ試驗ヲ行ハズ三學期ノ評點ヲ平均シテ之ヲ定ム

第三十二條　實技ノ學期評點ハ受持教員ノ見込ヲ以テ別ニ試驗ヲ施サズ平常ノ成績ニ依リテ之ヲ定ムルコトアルベシ

第三十三條　評點ハ各課百點ヲ以テ最高點トス

第三十四條　學年評點ハ各課ヲ實技及學課ニ大別シ各別ニ得點ヲ平均シ更ニ之ヲ合計シテ二分シ六十點以上ヲ合格トス

但實技ノ成績一課目六十點ニ滿タズ又ハ學課ノ成績一課目四十點ニ滿タザルハ共ニ不合格トス

第三十五條　不合格ノ爲原級ニ止マルトキハ六十點以上ヲ得タル學課ニ就キテハ其ノ資格ヲ留保スベシ

第三十六條　豫備科生徒ノ學期末ノ試驗成績不合格ノ者ハ在學ノ資格ヲ失フモノトス

第三十七條　疾病其ノ他已ムヲ得ザル事故アリテ試驗ニ缺席スル者ハ一週間以內ニ其ノ事由ヲ詳記シ追試驗ヲ願出ヅルトキハ平常課業ノ成績優等ノ者ニ限リ之ヲ許スコトアルベシ

第三十八條　毎年一回各科各學年ヲ通ジテ競技ヲナサシメ優等ノモノニハ褒賞ヲ與フルコトアルベシ

第三十九條　卒業製作ヲ完成シ其ノ成績合格シタルトキハ卒業證書ヲ授與ス

第八章　圖畫師範科規程

第四十條　圖畫師範科ニ入學スルコトヲ得ルモノハ年齡滿二十四年以下ノ男子ニシテ品行方正身體健全且左ノ資格ノ一ヲ具フル者ヨリ當該學校長之ヲ薦擧シ其中ニ就キ試驗ノ上選拔スルモノトス

一、道廳府縣師範學校卒業者

二、官公立私立中學校卒業者

三、專門學校入學者檢定規程ニ依リ檢定ヲ受ケタル者

第四十一條　前條ノ外必要ト認ムルトキハ當該學校長ノ薦擧ニ依ラズ資格アルモノヲ募集シ試驗ノ上入學セシムルコトアルベシ

第四十二條　入學志願者ノ選拔試驗課目ハ隨時之ヲ定ム

第四十三條　在學中平時ニ在リテ兵役ニ服スベキモノハ入學ヲ許サズ

第四十四條　學校長ニ於テ生徒ヲ薦舉スルトキハ薦舉書(第五號書式)入學願書(第一號書式)履歴書(第二號書式)人物考定及學業成績表(第四號書式)身體檢査書(第三號書式)戸籍謄本並ニ寫眞ヲ差出スヲ要ス

第四十五條　道廳府縣師範學校卒業者ハ前條書類ノ外ニ地方長官ノ許可書ヲ添付スベシ

第四十六條　學校長ノ薦舉ニ依ラザル入學志願者ハ薦舉書、人物考定書ヲ除キ直ニ本校ニ願書ヲ差出スベシ

第四十七條　本校規則第十一條ニ依ルモノニシテ卒業シタルトキハ學校長ノ薦舉ニ係ルモノハ學校長ヨリ、本人ノ願出ニ係ルモノハ本人ヨリ速ニ其旨ヲ本校長ニ通知スルト共ニ學業成績表ヲ回送スベシ

第四十八條　學校長ノ薦舉ニ係ルモノヨリハ入學手數料ヲ徴收セズ

第四十九條　入學ヲ許可セラレタル生徒ハ直ニ保證人連署ノ誓書(第六號書式)ヲ差出スベシ

第五十條　保證人轉住其他身上ニ異動ヲ生ジタルトキハ連署ノ上速ニ其旨ヲ屆出ヅベシ

第五十一條　保證人死去シ又ハ海外ニ渡航シ若クハ其資格ヲ失フトキハ更ニ誓書ヲ差出スベシ

第五十二條　入學ヲ許可セラレタルモノ第一學期末ノ成績不良ナルトキ又ハ在學中疾病ニ罹リテ修學シ能ハザルモノハ退學ヲ命ズ

第五十三條　生徒ニシテ病氣又ハ事故ノ爲メ一箇月以上引續キ缺席シ又ハ缺席スベシト認ムルモノハ休學ヲ命ズ

第五十四條　生徒ニハ學資トシテ一箇月金六圓ヲ支給ス

但シ私費生ト爲スコトアルベシ

第五十五條　學資ハ入學ノ月ハ日割ヲ以テシ卒業ノ月ハ全額ヲ給ス

第五十六條　左ノ事項ニ該當スル場合ニハ學資ノ支給ヲ停止ス

一、私事ノ故障ニ依リ引續キ二週日以上缺課シタルトキハ二週日ヲ過ギタル翌日ヨリ事故繼續中

二、疾病傷痍又ハ止ムヲ得ズト認ムベキ事故ニ依リ六十日以上缺課シタルトキハ六十日ヲ過ギタル翌日ヨリ缺課中

三、停學中又ハ休學中

第五十七條　第五十二條ニ依リテ退學ヲ命ジタルモノノ外在學中半途ニシテ退學スル者又ハ除名若クハ退學ヲ命ゼラレタルモノハ既ニ支給セラレタル學資及授業費ヲ償還スベシ

但シ疾病傷痍又ハ酌量スベキ事情アルトキハ償還スベキ學資及授業費ノ一部又ハ全部ヲ免除スルコトアルベシ

第五十八條　圖畫師範科卒業生ニシテ研究生タラントスルモノアルトキハ時宜ニ依リ二學年以內ニ限リ入學ヲ許可スルコトアルベシ

第五十九條　第三章第四章第七章第九章第十二章ノ規程ニシテ本規程幷ニ圖畫師範科生徒ニ關スル諸規程ト牴觸セザルモノハ圖畫師範科生徒ニ之ヲ準用ス

第九章　研究生規程

第六十條　卒業生ニシテ既修ノ實技又ハ學課ニ就キ更ニ研究セントスル者ハ本規程ニ依リ研究生タルコトヲ得

第六十一條　研究生ノ在學期限ハ三箇年以內トス

第六十二條　研究生ハ實習費トシテ一學年間金十五圓ヲ四月、九月、一月ノ三回ニ毎回金五圓宛ヲ本校收入官吏ニ納付スベシ若シ滯納ノ場合ハ總テ本校生徒授業料滯納者ニ準ジテ取扱フベシ

第六十三條　研究生タラント欲スル者ハ其研究セント欲スル事項ヲ具シテ願出ベシ

第六十四條　入學ヲ許スベキ研究生ノ年齡ハ滿二十八年以下トス

但學校長ニ於テ適當ト認ムルモノハ本條ニ拘ラズ特ニ入學ヲ許スコトアルベシ

第六十五條　實技研究生ノ入學ヲ分チテ無試驗入學及競技入學ノ二種トス

第六十六條　本科、選科及圖畫師範科卒業生ニシテ卒業後直ニ實技研究生トシテ入學ヲ願出ヅル者ハ卒業試驗ニ於ケル實技ノ成績八十點以上ヲ得タル者ニ限リ無試驗入學ヲ許ス

但入學志願者同時ニ多數アルトキハ卒業試驗ノ成績順ニ依リ入學人員ヲ定ム

第六十七條　卒業生ニシテ前條ニ該當セザル者入學ヲ願出ヅルトキハ毎學年ノ始ニ於テ入學競技ヲ行ヒ其ノ成績八十點以上ヲ得タル者ニ就キ詮衡ノ上入學ヲ許ス

第六十八條　實技研究生所定ノ人員ニ缺クルトキハ臨時入學ヲ許スコトアルベシ

第六十九條　實技研究生ニシテ入學競技ヲ受ケ二回マデノ間ニ於テ所定ノ點數ヲ得ル能ハズシテ入學ヲ許可セラレザル者ハ爾後入學競技ニ加ハルコトヲ得ズ

第七十條　入學競技ニ要スル材料ハ總テ自辨トシ手數料ヲ徵收セズ

第七十一條　入學競技ノ外毎學期一回以上競技ヲ行フ

第七十二條　平常競技ノ成績一學年平均七十點ニ滿タザル者ハ研究生タルノ資格ヲ失フ其ノ成績七十點以上八十點未滿ナル者ハ次學年ニ於テ更ニ入學競技ヲナサシメ在否ヲ定ム

第七十三條　平常競技ノ成績一學年ノ平均八十點以上ノ者ハ次學年ニ於テ引續キ在學セシメ九十點以上ヲ得タル者ハ當該主任教授ノ推薦ニ依リ實習費ヲ免除シ且製作費ヲ給シテ特別製作ヲナサシメ又ハ旅費ヲ給シテ研究旅行ヲナサシムルコトアルベシ

第七十四條　卒業生ニシテ美術ニ關スル學術ヲ研究セント欲シ研究生トシテ入學ヲ願出ヅル者アルトキハ當該主任及關係教員ノ會議ニ附シ本校ノ見込ニ依リ許否ヲ定ムルモノトス

第七十五條　研究生ニシテ所定ノ研究ヲ終リタル者ニハ詮議ノ上其證狀ヲ附與ス

第七十六條　研究生ニシテ一箇月以上無屆ニテ缺席シタル者ハ除名ス

第七十七條　何等ノ事故ニ拘ラズ三箇月以上缺席スル者ハ研究生タルノ資格ヲ失フ

第七十八條　本規程ニ依リ除名セラレタル者及本校規則第二十二條ニ依リ除名セラレ又ハ退學ヲ命ゼラレタル者ハ再ビ入學スルコトヲ許サズ

第七十九條　研究生ハ此ニ規定スルモノノ外ハ本科生ト同ジク本校諸規程ヲ遵守スベキモノトス

第十章　選科生規程

第八十條　各本科ノ課目中一課若クハ數課ノ實技ヲ選擇シテ學修セントスル者ハ各級本科生ニ缺員アル場合ニ限リ左ノ各號ニ該當スル者ハ選科生トシテ入學ヲ許ス

一、年齡滿十七年以上滿二十六年以下ノ男子ニシテ品行善良身體健全ナル者

一、所選實技ノ試驗ヲ受ケ合格シタル者

一、高等小學校卒業者又ハ中學校二年修了以上ノ者又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スル者

第八十一條　前條第三號末段ノ學力ハ本校ニ於テ左ノ學課ニ就キ試驗ヲ施シテ之ヲ定ム

(一)讀　書　假名交リ文

(二)作文及書取　簡易ナル假名交リ文

(三)算　術　加減乘除

(四)歷　史　日本歷史ノ大要

第八十二條　選科生ノ修業年限ハ五箇年トス

第八十三條　繪畫彫刻ノ選科生ハ實技ノ外解剖學遠近法ヲ學修スルコトヲ要ス

第八十四條　選科生ハ所選ノ課目ニ就キ本科生ト同ジク試驗ヲ受ケ合格ノ者ニハ證書ヲ授與ス

第八十五條　選科生ハ此ニ規定スルモノノ外ハ本科生ト同ジク本校諸規程ヲ遵守スベキモノトス

第十一章　別科生及聽講生規程

第八十六條　生徒以外ノ者ニシテ本校ニ於テ教授スル學課目中一課若クハ數課ヲ選ビ學修セントスル者ハ相當ノ學業履歴アル者ニ限リ特ニ別科生又ハ聽講生トシテ出席ヲ許スコトアルベシ

別科生ハ主トシテ所選ノ實技ヲ學修シ聽講生ハ單ニ學科ヲ聽講スルモノトス

第八十七條　本校ハ毎學年開始前ニ出席ヲ許スベキ學科目ヲ公示スベシ

第八十八條　別科生ハ實習費トシテ一學年間金參拾圓ヲ四月、九月、一月ノ三回ニ毎回金拾圓宛ヲ本校收入官吏ニ納付スベシ

聽講生ハ一學年間ノ聽講料トシテ一科目ハ金五圓ヲ、一科目ヲ增ス毎ニ金參圓ヲ本校收入官吏ニ前納スベシ

但一旦納付シタル實習費又ハ聽講料ハ如何ナル事故アルモ返付セズ

第八十九條　別科生ニシテ實習費滯納ノ場合ハ總テ本校生徒授業料滯納者ニ準ジテ取扱フベシ

第九十條　聽講生ハ本人ノ希望ニ依リ本科生ト同ジク試驗ヲ受クルコトヲ得

前項ノ場合ニハ合格者ニハ證書ヲ授與ス

第九十一條　別科生及聽講生ハ本校所定ノ制服ヲ著用スルコトヲ要セズ

第九十二條　別科生及聽講生ハ此ニ規定スルモノノ外ハ本科生ト同ジク本校諸規程ヲ遵守スベキモノトス

第十二章　授業料及其他ノ費用

第九十三條　授業料ハ一學年間金二十五圓ト定ム

但外國人ノ授業料ハ一學年間金四十五圓トス

研究生、圖畫師範科生徒及實業學校教員養成規程ニ依レル學資補給生ヨリハ授業

料ヲ徴收セズ

第九十四條　授業料ハ毎年九月ハ金十圓ヲ、一月、四月ハ金七圓五十錢ヅヽヲ各當月十五日ヨリ三日間ニ本校收入官吏ニ納付スベシ

但外國人ノ授業料ハ九月、一月、四月ノ三回ニ毎回金十五圓宛ヲ本校收入官吏ニ納付スベシ

授業料ハ一學年分ヲ一時ニ納付スルモ妨ゲナシ

授業料ハ一旦納付シタル後ハ如何ナル事由アルモ返付セズ

第九十五條　授業料ハ疾病其ノ他自己ノ都合ニ依リ缺席シ又ハ停學ニ處セラルルコトアルモ本校ニ學籍ヲ有スル間ハ之ヲ徴收ス

第九十六條　特待生ニシテ第二十七條ノ處分ヲ受ケタルトキ又ハ休學中ノ生徒若クハ再入學等ノタメ半途ヨリ就學スルトキハ一箇月金二圓五十錢ノ割ヲ以テ其月ヨリ授業料ヲ徴收ス

外國人ニシテ前項ニ該當スルモノハ一箇月金四圓五十錢ノ割ヲ以テ其月ヨリ授業料ヲ徴收ス

第九十七條　授業料ヲ納付期日ニ納メザル者ハ未納中停學ヲ命ズ其ノ未納三週日ヲ超ユルトキハ除名ス

第九十八條　教科用ノ圖書、實習用小道具、繪具、紙、筆及諸材料ハ總テ生徒ノ自辨トス、

但實技上重要ノ器品等ハ本校ヨリ之ヲ貸付ス

第九十九條　本校ヨリ材料ヲ給シテ製作セシメタルトキハ其ノ生産品ハ本校ノ所有ニ歸スルモノトス

○第一號書式（用紙美濃紙二ツ折姓名ニハ假名ヲ附スベシ）

入學願書

私儀御校何科ニ入學仕度履歴書其他御規定ノ書類及手數料相添此段相願候也

年　月　日

東京美術學校長某殿

住所
本籍族（戸主ニ非ザレバ戸主トノ關係）
姓　名
何年何月何日生

○第二號書式（用紙美濃紙二ツ折）

履歴書

住所
本籍族（戸主ニ非ザレバ戸主トノ關係）
姓　名
何年何月何日生

一學　業
一何年何月何小學校卒業
一何年何月ヨリ何地何某ニ就キ何學修業
一何年何月ヨリ何立何學校ニ入學ス
一何年何月何立何學校卒業ス
一卒業證書等
一何年何月何立何學校ニ於テ何科卒業證書ヲ受ク其寫別紙ノ如シ
一何年何月何地何處ニ於テ何々免許狀ヲ受ク其寫別紙ノ如シ

一兵　役
一何年何月何日ヨリ何年何月何日マデ何師團何旅團何兵何聯隊ニ入ル等（兵役ヲ免ゼラレタル　モノハ其事由ヲ記スベシ）
一職務、職業
一何年何月何地ニ於テ何職ヲ奉ス（俸給等記載スベシ）
一何年何月依願免官或ハ目下勤續中等
一何年何月ヨリ何地ニ於テ何業ニ從事ス（其後ノ事モ記載スベシ）
一賞　罰
一何年何月何日何處ニ於テ何事ニ付何賞ヲ受ク或ハ何罰ヲ受ケタル事

右之通相違無之候也

年　月　日

右
姓　名　印

○第三號書式（身體檢査ハ文部省所定ノ方法ニ依リ度ハ尺、衡ハ貫ヲ單位トシ四捨五入ノ法ヲ以テ度ハ分、衡ハ匁ニ止ム）

身體檢査書

住所
本籍族（戸主ニ非ザレバ戸主トノ關係）
姓　名
何年何月何日生

一體格　一身長
一體重　一胸圍（常時／充盈／空虛）盈虛ノ差
一視力（左右遠近視ノ度色盲眼疾）　一脊柱
一聽力（障害ノ有無）　一耳疾
一齒牙（上顎齲齒數／下顎齲齒數）　一呼吸器
一言語　一疾病（既往及現在）
一身體異常ノ有無　一神經系
右檢査致候處相違無之候也

年月日　住所
何學校醫
學位（又ハ資格）　姓　名印

○第四號書式（用紙美濃紙二ツ折）
人物考定及學業成績表

住所
本籍族（戶主ニ非ザレバ戶主トノ關係）
姓　名
何年何月何日生

一資性　一品行
一志操　一擧動
一長所短所

學業成績表

試驗施行年月日	學年別	國語	漢文	何々	何々	何々	何々	合計	平均	受驗總人員	席次	及落卒業	備考
年月日	第一學年												
年月日	第二學年												
年月日	第三學年												
年月日	第四學年												
年月日	第五學年												

右本校在學中ノ人物考定及卒業成績（又ハ在學中ノ成績）前書ノ通ニ有之候也

年月日　何々學校長　姓　名印

備考　在學中ノモノヲ薦擧スル場合ニ在テハ最終學年欄ニ最近學期ノ成績ヲ記入シ學年成績ニ代フベシ○直接本校ニ願書ヲ差出スモノニ在リテハ人物考定書ハ要セザルモ成績表ハ之ニ倣フモノトス

○第五號書式（用紙美濃紙二ツ折）

薦舉書

何年何月何々學校卒業（又ハ卒業スベキ者）

何府縣族　姓　名

生年月　何年何月何日生

年齢　何年何ケ月

右者將來圖畫教員タルノ志望ヲ有スルモノニシテ前記ノ學校ヲ卒業シ（又ハ卒業スベキモノ）學力優等品行方正ナル者ニ有之候間御校圖畫師範科ヘ入學御許可相成度別紙書類相添ヘ薦舉致候也

年　月　日

何々學校長　姓　名　印

東京美術學校長某殿

○第六號書式（用紙美濃紙二ツ折）

印 三錢收入印紙貼用

誓書

私義今般御校圖畫師範科生徒トシテ入學御許可相成候ニ就テハ在學中御校則ヲ遵守シ專心勉勵スベキハ勿論卒業後ニ在リテハ卒業者服務規則ヲ服膺シ誓テ熱心教育ニ盡スベク候仍リテ誓書如斯ニ候也

年　月　日

住所

本籍族（戸主ニ非ザレバ戸主トノ關係）

姓　名　印

何年何月何日生

前書之通相違無之候ニ付テハ御校諸規則承知ノ上保證人ニ相立チ向後本人身上ヨリ相起リ候事件ニ關シテハ一切引受ケ處理可致候也

猶向後轉住改印其他身上ニ異動ヲ生ジタルトキハ速ニ御屆可申候也

住所

本籍族

業務

本人トノ關係

年　月　日

保證人　姓　名　印

何年何月何日生

東京美術學校長某殿

前書保證人何某ハ肩書ノ所ニ住シ公民權ヲ有スル者ニ相違無之候也

年　月　日

何市町村長　姓　名　印

備考　保證人ハ必ズ公民權ヲ有スルモノタルベク又可成近親ノモノヲ選ビ本校ノ認可ヲ受クベシ○保證人ノ姓名ニハ假名ヲ附スベシ○保證人ハ其姓名ヲ自書シ實印ヲ捺スベシ

各科授業要旨

各科授業ノ要旨ハ茲ニ之ヲ述ブルト雖素ヨリ其大要ヲ記スルニ過ギズ假令之ヲ細說スルモ實況ヲ見ルニアラズンバ隔靴搔痒ノ感アルヲ免レザルナリ故ニ詳細ヲ知ラントスルモノハ各科教室ニ於ケル授業ノ實況ヲ視察シ又生徒ノ成績ニ考慮シ之ヲ會得スルノ外ナキナリ而シテ茲ニ一言シ置クベキハ本校生徒教養ノ效果ナリ蓋シ藝術ハ終身ノ業ニシテ僅々數年ノ修養ヲ以テ能ク其效果ヲ收メントスルノ爲シ易カラザル事ハ何人モ知ル所タリ殊ニ名家鉅匠トシテ聲譽ヲ後昆ニ傳フルガ如キハ自ラ天禀ノ才能ト拔群ノ技倆トヲ有スルモノニ非ルヨリハ得テ望ムベカラザル事ニ屬ス然レドモ人各所長ノ在ルアリ好尙ノ存スルアリ故ニ本校教授ノ要旨ハ成ルベク其人ノ長ズル所ニ副ヒテ之ヲ發展進步セシムルニ務ムト雖之ヲ約言スレバ本校ハ僅ニ五ヶ年ヲ

以テ卒業スル規定ナルヲ以テ茲ニ卒業ト稱スルハ唯技術上ノ端緒ト之ニ適切ナル學科トヲ修得シタルニ過ギズ技術ノ大成ノ如キハ各自ガ本校ニ在リテ修得シタル素養ニ依リ尙精進不轉退ノ修練ニ俟ツノ外ナキナリ

豫備科

豫備科ハ本科ニ入ルノ豫備ニシテ各科（製版科・臨時寫眞科・圖畫師範科ヲ除ク）ニ之ヲ置キ必要ナル實技及學科ヲ課シ凡ソ三ヶ月間學修セシメタル終リニ於テ試驗ヲ施シ本科入學ノ許否ヲ決定ス故ニ此ノ科ニ於ケル實技及學科ハ中學校トノ連絡ヲ圖リテ教授スレドモ唯歷史ハ東洋美術史ノ大略ヲ講授セリ

日本畫科

日本畫科ハ第一年ヨリ年級毎ニ擔任教官ヲ定メテ教授シ毛筆畫ヲ學バシム其授業ハ模寫、臨畫、寫生、新案、圖案ノ五トナシ別ニ郊外寫生ヲナサシム特ニ課スル學科ヲ解剖學、遠近法、圖案法トス

模寫及臨畫ハ本校教授ノ描キタルモノ及古來名家ノ筆蹟ニ係ル簡易ナルモノヨリ漸次複雜ナルモノニ移リ主トシテ其著想並ニ運筆ノ法ヲ修得セシム第一年ヨリ第四年マデ之ヲ課ス

寫生ハ初メ草木花實ヲ以テシ次デ蟲魚禽獸ヲ教室ニ致シ或ハ動物園ニ就キテ之ヲ寫サシム其技ノ漸ク熟スルニ及ビ生人ノ「モデル」ニ及ボシ本邦古來ノ甲冑ヲ著セシメ或ハ裝束ヲ爲サシメ若クハ當世ノ服裝ヲ寫サシメ以テ有職故實ノ實修ト傅彩配色ノ手法ト物象ヲ正確ニ描寫スル法トヲ教フ是亦第一年ヨリ第四年マデ之ヲ課ス

新案ハ既ニ學修シタル模寫及臨畫寫生ノ力ヲ應用シ課題ニ依リテ各自ノ意匠ヲ須キ新作セシムルモノニシテ第一年ヨリ第四年マデ之ヲ課シ卒業期ニ於テハ新案ヲ以テ專ラ卒業製作ヲナサシム

圖案ハ草木花實ノ簡易ナルモノヨリ漸次複雜ナルモノニ及ボシ繪畫ノ力ヲ應用シテ模樣器物ノ圖案ヲ作ラシム第一年ヨリ第四年マデ之ヲ課ス

郊外寫生ハ教官ニ於テ其日ト場所トヲ選ビテ生徒ヲ引率シ又ハ生徒ヲシテ隨所ニ其風景ヲ寫生セシメ成績ヲ徵ス

西洋畫科

西洋畫科ハ第一年第二年ハ擔任ヲ定メテ教授スレドモ第三年ヨリハ之ヲ第一第二第三ノ三教室ニ分チ各室ニ主任教授ヲ置キ生徒ノ志望ニ由リテ何レカノ教室ニ入ラシメ主トシテ木炭畫、油畫ヲ教授シ又鉛筆畫、水彩畫ヲ併セ授ケ特ニ課スル學科ヲ解剖學、遠近法トス

第一年ニ於テハ專ラ石膏像ニ據リテ木炭畫ヲ習得セシメ併セテ油繪ノ靜物畫風景畫等ヲ授ク又隨時題ヲ課シテ構圖ヲナサシム但シ此學年ニ限リ木炭、水彩、鉛筆ヲ以テ構圖ヲナサシム

第二年ニ於テハ生人ノ「モデル」ニ依リ木炭ヲ以テ人體ヲ寫生セシメ第三年第四年ニ於テハ油繪具ヲ以テ寫生セシム油繪ノ靜物畫風景畫及構圖等ハ學年ノ進ムニ隨ヒ順

次其程度ヲ高メテ之ヲ課ス

卒業期ニ入リテハ第一學期ニ於テ卒業製作ノ構圖ヲナサシメ第二學期ニ於テ其ノ構圖ニ據リテ製作ニ從事セシメ併セテ自畫像ヲ描寫セシム

風景畫ハ期日ヲ限定シテ郊外寫生ヲナサシメ構圖ハ主トシテ歴史及風俗ヲ課ス

各學年ノ課目ニ對シ一學期末毎ニ一回ノ競技ヲ施行シ技能ノ優劣ヲ判定ス

彫刻科

彫刻科ヲ分チテ塑造部、木彫部、牙彫部ノ三トシ生徒ノ志望ニ依リテ此部ノ一ヲ選ビ學修セシム特ニ課スル學科ヲ解剖學遠近法トス而シテ此科ニハ石膏標本室及同製作室ヲ付設ス

塑造部ニテハ第一年ヨリ卒業期ニ至ルマデ皆塑土ヲ以テ物形ヲ作ラシメ彫刻ノ術ヲ學修セシム其初メハ石膏製薄肉ノ裝飾物及動植物ノ手本ヲ與ヘテ之ヲ摸セシメ技倆漸ク進ムニ從ヒ動物人首等ニ移ラシメ第二年以上ハ禽獸ヲ教室ニ致シ又ハ動物園ニ

就テ寫生セシメ漸次生人ノ「モデル」ニ依リテ諸種ノ態度服裝ヲナサシメ其形ヲ寫サシム又別設ノ石膏室ニ於テハ石膏型ヲ造ルノ方法ヲ教フルト共ニ自ラ塑土ノ作品ヲ石膏型ニ移サシム卒業期ニ至リテ專ラ卒業製作ヲナサシムルコト他科ニ同ジ

木彫部、牙彫部ノ教授順序モ亦略〻塑造部ノ如クニシテ第一年ヨリ第四年マデ各自ノ志望ニヨリテ此部ノ一ヲ選ビ當該教室ニ在リテ古作品又ハ教師ノ作品ヲ摸セシメ或ハ自己ノ意匠ヲ以テ作ラシメ又其實習時間ヲ割キテ塑土ヲ以テ物形ヲ作ルコトヲ學バシム卒業期ニ至リテ卒業製作ヲナサシムルコト他科ニ同ジ

繪畫ハ彫刻ニ必要ナル繪畫ヲ修メシムルモノニシテ別ニ設クル教室ニ於テ塑造部ニハ木炭畫ヲ木彫部牙彫部ニハ毛筆畫ヲ課ス

圖案科

圖案科ハ分チテ第一部（工藝圖案）第二部（建築裝飾）トシ生徒ノ志望ニ依リテ其部ノ一ヲ學修セシム

第一部ニテハ各種ノ工藝圖案ヲ專修セシム而シテ此部ノ實習ヲ分チテ圖案實習、繪畫、各種工藝製作及ビ彫塑トシ又特ニ各學年ニ配當シテ圖案法、各種工藝製作法、用器畫法、色彩學等ノ學科ヲ課ス

圖案實習ハ第一學年ヨリ第四學年マデノ間ニ於テ動植物等ノ實物ヲ寫生變化シ又內外新古各時代ニ於ケル工藝圖案及裝飾模樣圖案ヲ學バシメ而シテ後之レヲ應用シ自己ノ意匠ヲ以テ新ニ圖案ヲ作ラシム卒業期ニ至リテ卒業製作ヲナサシムルコト他科ニ同ジ

繪畫ハ各種ノ形體ヲ描寫スル力ヲ養ヒ並ニ傳彩配色ノ法ヲ習得セシムルモノニシテ毛筆畫、木炭畫、水彩畫トシ東西古今ノ名家ノ作ニ成レル繪畫及ビ彫刻ヲ模寫シ若クハ臨寫セシメ並ニ草木、花卉、禽獸、蟲魚、器物、人物、風景等ニ就キテ寫生セシメ且ツ新案ヲ以テ描カシム

各種工藝製作法ハ漆工、金工、鑄金、陶磁器、染織、印刷等ノ實習ヲナサシム

彫塑ハ塑土ヲ以テ圖案ニ關スル內外新古ノ裝飾及器物ノ模型ヲ寫サシム

第二部ニテハ建築及建築裝飾ニ關スル圖案ト理論トヲ專修セシム特ニ課スル學科ハ東西建築史、建築學、理學、圖案法、用器畫法トシ實習ハ製圖、繪畫、彫塑ヲ修メシムルノ外屢〻建築工場及實物製作ニ就キテ見學シ又實測ヲナサシメ時々新案ヲ以テ製作ニ從事セシム

新案ハ既ニ學修シタル學理ト製圖力トニ依リ各學年ヲ通ジ各自ノ意匠ヲ須キテ新作セシムルモノナレドモ特ニ豫備科ニ於テハ數理的智識ノ修養ト建築學一般ノ概要ヲ學バシメ卒業期ニ在リテハ前半期ハ高等ノ學理ト既ニ修得シタル諸學科ノ活用方法ヲ練習セシメ後半期ニ於テハ實際ノ要件ヲ基礎トセル建築及建築裝飾圖案ヲ製作シ併セテ是等ニ關スル特種ノ卒業論文ヲ提出セシム而シテ學科ノ內容ヲ示セバ左ノ如シ

建築史ハ之ヲ東西ニ別チ東洋建築史ハ主トシテ日本建築史ヲ敎ヘ朝鮮支那及印度ニ

於ケル建築沿革ノ大要ニ及ボシ西洋建築史ハ歐米ニ於ケル古代ヨリ現今ニ至ル建築様式ノ變遷ト特徴ノ概要ヲ講授ス

建築學ハコレヲ數課目ニ分ツ卽チ一般建築構造、鐵骨鐵筋構造、建築材料、工事施工法等ニ於テハ建築ノ骨骼、構造及之ガ施工ノ大要ト現場ニ臨メル心得等ヲ敎ヘ特別建築意匠、建築裝飾、家具史、家具製作法ニテハ建築及家具ノ意匠製作ニ關スル理論ト要件トヲ修メシメ色彩學ニテハ色彩ニ關スル學理ヲ、建築科學ニテハ衛生、地震、音響、光線等ニ關スル高等ノ學理ヲ授ケ尙卒業期ニ於テ築庭又ハ建築ニ關係アル特別ノ講義ヲ課ス

理學ノ中、數學、力學ハ建築理論ニ關係アル各學科ノ理解力ト數理的智識ノ涵養ヲ目的トシ地質、測量ハ建築施工上ノ要素ヲ修メシムルニアリ

用器畫法ハ投影陰影ニ始マリ圖法幾何及遠近法ニ至ル理論ト圖法トヲ敎ヘ圖案寫生等ニ於ケル正確ナル力ヲ養フニアリ

圖案法ハ建築及裝飾ニ伴フ各種ノ工藝圖案ニ就キテ講授ス

繪畫ハ木炭畫ニ始マリ鉛筆畫、ペン畫、水彩畫ニ及ボシ建築及各種ノ形體ヲ正確ニ模寫スル力ト傅彩配色ノ法ヲ習得セシメ以テ製圖及圖案ノ力ヲ補ヒ又特ニ第四年ニ於テ毛筆畫ヲ課シ各種ノ圖案製作ニ便ナラシム

彫塑ハ塑土ヲ以テ建築裝飾ノ模寫ヲナシ或ハ圖面圖案等ニ基ヅキ之ヲ實物ニ製作セシメ且ツ建築現場ニ於ケル彫刻裝飾應用ノ力ヲ修得セシム又本邦木彫ノ名稱特徴ハ別ニ標本模型ニ據リテ之ヲ學バシム

金工科

金工科ニテハ彫金、鍛金ヲ學修セシム卽チ彫金ハ鏨ヲ用ヰテ諸金屬ニ彫刻シ鍛金ハ諸金屬ヲ鎚打シテ各種ノ物形ヲ作ルノ術ヲ敎フ鞴場ヲ付設シ又傍ラ塑造ヲ學バシム特ニ課スル學科ハ圖案法、製作法、金工史、工藝化學ナリ

彫金ヲ敎フルニハ最初ハ鏨ノ用法ヨリス卽チ初學年ニアリテハ手本ヲ與ヘテ直線曲

線ノ彫刻法ヨリ次デ之ヲ應用シ各自ノ考案ヲ以テ文様等ヲ刻セシメ技倆漸ク進ムニ從ヒ片切ノ彫法、鏤金ノ手法、全彫ノ作法等ヲ教ヘ時ニ題ヲ與ヘテ模刻ノ外新案ヲ作サシム

鍛金實習ハ其初メ銅鐵ヲ鎚打シテ簡單ナル器物ヲ作ルノ法ヲ教ヘ其技漸ク進ムニ從ヒテ水滴花瓶香爐ノ類ヨリ禽獸蟲魚人物等ヲ作ルコトヲ學習セシム

卒業期ニ至リ以上ノ技術ヲ以テ卒業製作ヲナサシムルコト他科ニ同ジ

塑造ハ塑土ヲ以テ禽獸蟲魚人物等ノ原型ヲ作ルノ法ヲ學修セシムルモノニシテ別ニ設クル所ノ教室ニ於テ之ヲ課ス

繪畫及圖案ハ繪畫ノ力ヲ養ヒ並ニ金工ニ必要ナル圖案ヲ學修セシムルモノニシテ別ニ設クル教室ニ於テ之ヲ課ス

鑄造科

鑄造科ニハ鑄淩及蠟型教室、傅色教室、鑄造工場アリテ鑄造ノ術ヲ教ヘ別ニ塑造ヲ

學バシメ又特ニ圖案法、金工史、製作法、工藝化學、機械學大意ヲ課ス

鑄造實習トハ塑土又ハ蠟型ニテ作リタル器物室内裝飾品彫像等ノ鑄造原型ヲ作ル方法ヨリ之ヲ鑄成シテ傅色スル術ヲ教フルナリ初メハ手本ニ因リテ簡單ナル薄肉半肉ノ手板又ハ額面ヨリ漸次其技ノ熟スルニ從ヒ各自ノ新案セル筆筒香爐花瓶ノ類ヲ造ラシメ又寫生シタル鳥獸人物等ヲ鑄成セシム卒業期ニ至リテ卒業製作ヲナサシムルコト他科ニ同ジ

蠟型ハ蠟ヲ以テ鑄造ノ原型ヲ作ルコトヲ教ヘ塑造ハ金工科ト同ジク別設ノ教室ニ於テ原型ヲ作ルコトヲ學バシム

今茲ニ鑄造ノ順序ヲ略說スレバ手本ニ由リ又ハ寫生新案ヲ以テ蠟若クハ塑土ニテ物形ヲ作ルヤ之ヲ鑄造工場ニ致シテ牝型及中子ヲ作リ次ギニ熔銅ヲ注入シ然ル後其鑄型ヲ毀チ鑄成シタルモノハ鑄淩教室ニ於テ仕上ゲヲ爲シ了レバ則チ傅色教室ニ入リテ適宜ニ傅色ヲ爲シ是ニ於テ初メテ成品ヲ見ルヲ得ルナリ

繪畫及圖案ヲ課スルハ金工科ニ同ジ

漆工科

漆工科ニハ蒔繪教室ト調漆教室トアリテ主トシテ描金ノ術ヲ教ヘ並ニ漆器ノ塗リ方ヲ學修セシム特ニ課スル學科ハ圖案法、製作法、漆工史、工藝化學ナリ

蒔繪實習ハ平蒔繪研出シヨリ高蒔繪、素地蒔繪等簡易ナルモノヨリ次第ヲ追ヒテ教フルモノニシテ初メハ手板ニテ習ハシメ漸次其技ノ熟スルニ從ヒ盆菓子器其他ノ器物ニ就キテ學修セシム又此時間中ニ於テ題ニ依リ或ハ實物ニ就キテ作品ノ價格ヲ見積ル練習ヲナサシム卒業期ニ至リテ卒業製作ヲナサシムルコト他科ニ同ジ

調漆實習ハ蠟色其他種々ノ色調ヲ以テスル桼漆ノ方法及變リ塗リ等ヲ教フルモノニシテ蒔繪實習時間ヲ割キテ之ヲ學バシム

彫鏤實習ハ蒔繪調漆ノ作品ニ牙角貝甲ヲ彫刻嵌鏤スルノ術ヲ教フルモノニシテ牙彫教室ニ就キテ之ヲ學バシム

繪畫及圖案實習ハ繪畫ノ力ヲ養ヒ並ニ漆工ニ必要ナル圖案ヲ學修セシムルモノニシテ別ニ設クル教室ニ於テ日本畫ヲ課ス

製版科

本科ハ製版及印刷ニ關スル學理ト實地トヲ教授ス

由來斯術ハ科學ノ應用ヲ基礎トセルガ故ニ其完全ヲ期センニハ單ニ製版印刷術ノ技巧ニノミ重キヲ置ク能ハズ生徒ヲシテ諸印刷版製作ノ方法ハ勿論深ク該印刷版生成ノ原理ヲ理解セシメ尚ホ之ニ要スル諸器械及諸材料ニ對スル知識ヲ必要トスルヲ以テ學科トシテ課スベキモノ頗ル多シ又實地ニアリテハ古來行ハレシ製版印刷ノ法式ハ頗ル多ク生徒ヲシテ悉ク之ヲ學修セシムルコト殆ド不可能ナルヲ以テ本科ノ實技教授方針ハ初學年ヨリ第三年第一學期ニ至ルノ期間ニ於テ先ヅ現今廣ク世上ニ行ハルヽ諸版式ヲ實習セシメ爾餘ノ二學期間ヲ以テ各自希望スル一種ノ版式ヲ習熟專修セシムルニアリ

先ヅ第一年ニアリテハ各科ニ課スル共通學科ノ外、數學、物理學、化學、色彩學、圖案法、寫眞術大意及製版術等ノ諸講義ヲ課シ更ニ製版實習ノ外化學實驗、繪畫實習、寫眞實習及製圖實習ヲナサシメ本科ノ專門タル製版實習トシテハ各種平版法、例ヘバ直畫石版法、轉寫石版法、寫眞版法其他金屬平版法ヲ實習セシム

第二年ニアリテハ光化學、化學、材料及藥品學、製版術、印刷術等ノ諸講義ヲ課シ實習トシテハ寫眞ヲ應用セル製版法卽コロタイプ法、亞鉛凸版法、網目版法、三色版法、電胎版法等ヲ實習セシム

第三年ニアリテハ光化學、製版術等ノ諸講義ヲ課シ實習ハ第一學期中ハ凹版術例ヘバ寫眞凹版、寫眞電氣凹版等ヲ實習セシメ殘餘ノ第二第三ノ兩學期ニアリテハ各自志望ノ版式ヲ專ラ實習セシメ之ニヨリテ卒業製作ヲナサシム

臨時寫眞科

本科ハ寫眞ニ關スル理論及實地ヲ教授ス

其ノ授業ノ方針ハ第一年ヨリ第二年ノ半ニ到ルノ期間ニ於テ學科ノ大部分及實技ノ諸種ノ範式ヲ教授シ爾餘ノ期間ハ主トシテ實技ノ習熟ニ充ツルモノトス

卽チ第一年ニ課スル學科ハ共通學科ノ外、數學、物理學、普通化學、色彩學、寫眞術、解剖學、遠近法、化學實驗トシ第二年ニハ普通化學、材料及藥品學、寫眞術、光化學、製版術大意ヲ課シ第三年ニハ寫眞術及光化學ヲ課ス

實技ハ繪畫及寫眞實習ノ二トシ寫眞實習ハ之レヲ三部ニ分チ、第一部ヲ陰畫部、第二部ヲ修整部、第三部ヲ陽畫部トシ、第一部ニ於テハ最初寫眞機械各部ノ名稱、取扱方等ヨリ順次肖像寫眞ヲ主題トシテ各種ノ採光法例ヘバ、プレインライチング、レンブランライチング、ラインライチング、ホーリンガーライチング等易ヨリ難ニ進ミテ教授シ第二部ニ於テハ修整術ノ說明、用具ノ使用法、其他ノ豫備的實習ヨリ始メ顏面、衣服、背景、風景畫等ノ修整並ニ陰板裏面ヨリノ修整、陽畫ノ修整ニ及ビ更ニ第三部ニ於テハ第一年ニ於テ銀印畫中ノ燒付紙（例ヘバ鹽化銀膠紙）ヨリ漸

次現像紙（例ヘバブロマイト紙、瓦斯ライト紙）其他白金印畫、鐵印畫ノ諸法ヲ教授シ第二年ニアリテハ主トシテクロム酸鹽印畫法（例ヘバカーボン法、ゴム法、オイル法）ヲ授ク

以上ノ如クニシテ普通寫眞術全般ノ實技教授ハ第二年第二學期マデ之レヲ修得セシメ殘餘ノ一學期及第三年一、二ノ兩學期間ハ既修ノ技術ヲ應用シ課題ニ據リテ新作ヲナサシメ最後ノ一學期ハ專ラ卒業製作ニ從事セシム

又學科ト稱スルモノノ中ニモ時トシテハ實驗ヲナサシムルコトアリ卽チ科學的寫眞（例ヘバ顯微鏡寫眞、天體寫眞、X光線寫眞等）並ニ應用寫眞（例ヘバ陶器寫眞、漆器寫眞等）ノ如キハ講義時間ノ一部ヲ割キテ多少ノ實習ヲナサシムルガ如シ又此ノ科ニ課スル學科ノ細目ハ甚ダ複雜ナルヲ以テ玆ニハ之ヲ略ス

圖畫師範科

圖畫師範科ハ普通教育ニ從事スル圖畫科教員ヲ養成スルヲ以テ主旨トナスガ故ニ技

術家タルト同時ニ教育者タルノ學識品格ヲ養ハンガタメ各科ニ課スル共通學科ノ外教育學及教授法、解剖學、圖案法、幾何畫法、英語、教授練習ヲ課シ實技ハ自在畫、手工、習字ヲ課ス

教育學及教授法ハ教育ノ理論及應用、教育史、學校衞生、教授法ヲ課ス

解剖學ハ骨骼論ト筋肉論トノ大要ヲ授ク

圖案法ハ平面的模樣ヲ主トシ立體圖案ヲ加フ

幾何畫法ハ平面圖法、投影圖法、圖法幾何、透視圖法、陰影圖法ヲ授ケ應用問題ヲ練習セシム

英語ハ主トシテ美術及圖畫教育ニ關スル叙事論說ノ講讀ヲ學修セシム

自在畫ハ木炭畫、鉛筆畫、毛筆畫、水彩畫等トシ石膏模型、標本、實物ニ依リテ陰影、濃淡及色彩ヲ授ク其方法ハ寫生ヲ主トシテ兼テ見取及考案ノ力ヲ練習セシム第二年、第三年ニ至リテハ塗板上ノ練習ヲ加ヘ第三年ハ殊ニ教授練習ヲ主トシテ初等

教育ヨリ中等教育ニ至ル教案ノ編成ヲ行ハシム

手工ハ第一年ニ粘土細工、切貫細工、厚紙細工ヲ、第二年ヨリ第三年ニ亙リテ木工及金工ヲ授ク手工理論及其教授法ハ實習時間内ニ於テ之ヲ課ス

習字ハ運筆ノ練習ヲ主トシ兼テ其教授法ヲ授ク

圖畫教員タルノ課程

師範學校、中學校、高等女學校ノ圖畫教員タラントスル者ノ爲ニ設クル課程ニシテ日本畫科、西洋畫科、圖案科生徒中ノ志願者ニノミ之ヲ課ス卽チ日本畫科ノ志願者ニハ西洋畫ヲ併課シ西洋畫科ノ志願者ニハ日本畫ヲ併課シ圖案科ニハ日本畫西洋畫ヲ併課シ又教育學及教授法、用器畫法ヲ學修セシム

研究生

研究生ハ各科卒業生ニシテ尙其實技ヲ研鑽セントスルモノノ爲ニ設クル所ニシテ其學修科目ハ各自ニ於テ選擇スルモノナレバ豫メ之ガ順序ヲ立テズ要ハ研究ノ實ヲ擧

グルニアリ在學年限ハ三ケ年以内トス

選科

選科ハ本科生ノ不足ヲ補フガ爲必要ノ場合ニ於テ入學セシムルモノニシテ各科ノ實技中一課若クハ數課ヲ選ビテ學修セシム此科ニ入學ヲ許スベキモノハ豫備科修了以上ノ實技ノ力ト規定ノ學力トヲ有スルモノトス其ノ修業年限ハ本科生ニ同ジ

各科ニ於ケル共通講授學科

思想ヲ高尙ニシ美術上ノ知識ヲ深邃ナラシムル爲須要ナル學科ヲ各科生徒一般ニ講授ス卽チ前記各科ニ特設セルモノノ外各學年ニ配當シテ一般ノ生徒ニ通ジ課スル所ノ學科ハ修身、外國語、東洋美術史、西洋美術史、美學、考古學、風俗史等ナリ而シテ是等歷史ニ關スル學科ヲ講授スルニ方リテハ豫メ實物ニ接シタル場合ノ鑑識ヲ養ハンガ爲ニ或ハ現物ヲ以テシ又ハ寫眞圖畫ニ依リ或ハ時ニ博物館ニ生徒ヲ伴ヒ若クハ幻燈ニ由リテ說明シ以テ之ヲ會得セシム其各學科ノ各學年配當及時數等ハ本校

規則ニ登載シアルヲ以テ玆ニハ之ヲ略ス

生徒心得（明治四十二年四月改正）

第一　本校ノ規則告諭等ヲ遵守スベキハ勿論各自其志操ヲ堅固ニシ意想ヲ優美ニシ言行ヲ謹肅ニシ校ノ内外ヲ問ハズ苟モ異様ノ容姿ヲナシ又ハ本校生徒タルノ體面ヲ汚ス等ノ擧動アルベカラズ

第二　凡ソ告示ハ掲示シタル時ヨリ一般ニ知了シタルモノト認ムルヲ以テ常ニ能ク注意スベシ

第三　何等ノ目的タルヲ問ハズ本校ノ許可ヲ得ルニ非レバ校内ニ於テ猥ニ多人數會合スベカラズ

第四　實技及學科共其ノ教授時間數ノ三分ノ一以上缺席スルトキハ進級ノ資格ヲ失フモノトス

第五　登校ノ節ハ必ズ本校所定ノ制服制帽ヲ著用シ靴ヲ穿ツベシ如何ナル事由アルモ和服ヲ著用シテ教室ハ勿論校舍内ニ出入スルコトヲ許サズ

第六　各自ノ記名札ハ門ヲ入ルトキ門衛ヨリ受取リテ教室ニ入リ所定ノ場所ニ掛ケ退出ノ際ハ教師ヨリ受取リテ門ヲ出ヅルトキ之ヲ門衛ノ札懸ニ掛クベシ

第七　授業時間ニ至レバ遲滯ナク教室ニ入リ各自ノ席ニ著キ其位次ヲ亂スベカラズ

第八　教室ニ入ルトキハ帽子外套ヲ脱スベシ

第九　授業時間中教師ノ許可ヲ得ズシテ教室ヲ出デ又ハ他ノ教室ニ入ルヲ得ズ

第十　授業時間外ニ教室ニ入リ又ハ教室備付ノ物品ヲ携出スベカラズ

第十一　本校職員ニ對シテハ勿論生徒相互ニ敬禮ヲ重ンズベシ

第十二　校舍ノ整肅清潔ヲ旨トシ總テ喧擾汚穢ノ擧動アルベカラズ

第十三　教室ニ於テ終業ノトキハ課業ニ用ユル備品ハ渾テ之ヲ掃除整頓スベシ

第十四　校内ニ在リテハ所定ノ場所外ニ於テ飲食喫煙シ又ハ唾壺外ニ唾ヲ吐クベカラズ

第十五　帽子、外套、傘、履物等ハ所定ノ場所外ニ置クベカラズ

第十六　宿所ヲ轉ズルトキハ速ニ其旨届出ヅベシ

第十七　各自ヨリ本校ニ差出スベキ願伺届書等ハ先以テ當該教員ノ認印ヲ受ケ然ル後之ヲ教務掛ニ差出スベシ

第十八　在學中ハ鄙猥ノ製作ヲナス等ノコトアルベカラズ

第十九　在學中ハ本校ノ許可ヲ得ズシテ他ノ學校ニ入リ又ハ他ノ學校或ハ官署ニ於ケル各種ノ試驗ニ應ズルコトヲ得ズ

第二十　本校ヨリ貸付シタル物品ハ殊ニ取扱ニ注意スベシ若シ其物品ヲ汚損シ又ハ紛失シタルトキハ修補セシメ或ハ同品ヲ以テ辨償セシム

第廿一　本校ノ許可ヲ得テ圖書標本若クハ其他ノ物品ヲ校外ニ持出サントスルモノハ當該職員ヨリ物品持出證ヲ受ケ之ヲ門衛ニ渡シテ出門スベシ各自ノ所有品ト雖本校藏品ニ紛ラハシキ物品ヲ携出スルトキハ之ニ準ズベシ

第廿二　生徒ニシテ本校内ニ公告貼札等ヲ爲サントスルトキハ豫メ本校ノ許可ヲ得テ後チ指定ノ場所ニ限リ之ヲ掲示スルコトヲ得

第廿三　家族若クハ同居人中又ハ住所ノ近傍ニ於テ激症傳染病ニ罹リタルモノアルトキハ速ニ其旨ヲ本校ニ届出ツベシ

東京美術學校文庫規則（明治三十九年十一月改正）

第一條　東京美術學校文庫ハ本校所有ノ圖書標本及生徒成績品ヲ收藏スル所トス

第二條　收藏品ヲ分チテ左ノ五種トス

第一種　通常圖書

第二種　貴重圖書
第三種　通常標本
第四種　貴重標本
第五種　生徒成績品

第三條　本校ノ職員、卒業生、生徒ハ文庫所藏品ヲ閲覽スルコトヲ得
　篤志ノ研究者ニシテ許可ヲ得タルモノモ亦同シ
　閲覽者ハ閲覽ノ場所及手續ニ就キテハ凡テ文庫掛員ノ指示ニ從フベシ
第四條　第二種及第四種ノ貴重品ハ閲覽ヲ許サザルコトアルベシ
第五條　文庫掛員ノ外文庫内ニ入リ所藏品ヲ檢索シ又ハ出納スルヲ許サズ
第六條　文庫所藏品ヲ閲覽セントスルモノハ豫メ閲覽票ノ交付ヲ受クベシ
　篤志ノ研究者ニシテ閲覽セントスルモノハ豫メ其ノ旨ヲ校長ニ願出ヅベシ
第七條　閲覽者ハ閲覽票ヲ携帶スルニアラザレバ閲覽室ニ入ルコトヲ得ズ

閲覽者ニシテ室外ニ出ヅルトキハ一應閲覽品ヲ返納スベシ
第八條　閲覽日時左ノ如シ
　但シ時宜ニ依リ變更スルコトアルベシ
　自九月十一日至十月三十一日　午前八時ヨリ午後九時マデ
　自十一月一日至翌年三月末日　午前八時半ヨリ午後九時マデ
　自四月一日至七月十日　午前八時ヨリ午後九時マデ
　自七月十一日至九月十日　午前八時ヨリ正午マデ
第九條　定期閉鎖日左ノ如シ
　但シ臨時閉鎖日ハ其都度之ヲ掲示スベシ
　歳首自一月一日至同月七日　歳末自十二月二十五日至同月三十一日
　日曜日及祝祭日
　本校設置紀念日

曝書期　夏期休業中　三十日間

第十條　各科教室ニ於テ教科用ニ供スルタメ圖書標本等ヲ其ノ教室ノ常備トスル必要アルトキハ教室ノ主任又ハ擔任者證印ノ上其ノ教室ノ常備トナスコトヲ得

但シ圖書標本等ハ各科共通ノ便ヲ圖リ且取締ヲ嚴ニスル必要アルヲ以テ已ムヲ得ザル場合ニアラザレバ常備トナサザルヲ主意トスベシ

第十一條　前條ニ依リ教室ノ常備トスル圖書標本等ハ直ニ其ノ教室ノ監守簿ニ記入シ主任又ハ擔任者證印シ物品會計規則ニ依リテ保管ノ責ニ任ゼシム

第十二條　前條ノ主任又ハ擔任者交迭スルトキハ文庫掛員立會ノ上監守簿ニ照シ更ニ之ヲ後任者ニ引繼ギノ手續ヲナスベシ

第十三條　教室常備ノ圖書標本等ハ毎年七月十日限リ文庫掛ヘ返納スベシ

第十四條　授業上必要ノ爲メ本校ノ名義ヲ以テ他ヨリ借入レ又ハ保管預リヲ爲シタル圖書標本ハ總テ本校所有ノモノト同一ノ取扱ヲ爲スベシ

但シ他ヨリ借入レタル物品ハ一切校外ヘ帶出ヲ許サズ

第十五條　公私ノ團體其ノ他ノモノヨリ圖書標本等ノ帶出閲覽ヲ請フコトアルトキハ文庫掛ハ其ノ期間ヲ明記シタル願書ヲ徵シ校長ノ命ヲ承ケテ之ヲ處理スベシ

第十六條　帶出閲覽中ノ物品ト雖本校ニ於テ要用アルトキハ隨時返納セシムベシ

第十七條　帶出閲覽中ノモノ旅行セントスルトキハ期限內ト雖モ旅行前一旦現品ヲ返納スベシ

職員ニシテ退職若クハ轉職シタルトキハ直ニ其ノ借受セル圖書標本等ヲ返納スベシ

第十八條　凡テ閲覽中ノ圖書標本等ハ他ニ轉貸スルヲ許サズ

第十九條　圖書標本等ハ總テ鄭重ニ取扱フベシ誤リテ之ヲ亡失シ或ハ汚染毀損セルトキハ同一品若クハ相當ノ代價ヲ以テ之ヲ辨償セシムベシ

第二十條　返納期日其ノ他規定ノ手續ヲ怠リタルトキハ爾後閲覽及借覽ヲ停止スル

コトアルベシ

職員

學校長

正四位勳三等　正木直彥　東京平　牛込、矢來、四

教授

帝室技藝員從四位勳三等　高村光雲　東京平　本郷、駒込林、一五五
塑造、木彫、牙彫、

帝室技藝員正四位勳四等子爵　黑田清輝　東京華　麴町、平河、六ノ一四
西洋畫

兼東京高等商業學校教授正五位勳五等　久米桂一郎　佐賀士　茅原、大崎、上大崎、六三一
解剖學

西洋畫　從五位勳六等　岡田三郎助　東京平　豐多、澁谷、下澁谷、一八三七
西洋畫

從五位勳六等　和田英作　鹿兒島士　麻布、笄、八
彫金

從五位勳五等　海野美盛　東京平　下谷、上野櫻木、三六
蒔繪

帝室技藝員從五位勳六等　白山福松　東京平　號松哉　京橋、木挽、二ノ二
西洋建築史、建築學
建築製圖

從五位勳六等　古宇田實　東京平　牛込、筑土八幡、一二
東洋繪畫史、東洋美術史

生徒監、幹事、從五位勳六等　大村西崖　靜岡平　牛込、矢來、三
自在畫、用器畫法、教授練習
英語、教育學及教授法

從五位勳五等　白濱徵　長崎士　小石川、丸山、五
塑造

從五位勳五等　白井保治郎　東京平　號雨山　本郷、千駄木、一八五
圖案、繪畫、圖案法

從五位勳五等　島田佳矣　東京士　號景州　芝、伊皿子、四五
製版術、製版術大意

從五位勳五等　結城林藏　東京士　下谷、御徒士、三ノ四五
製版實習

鑄造　陸軍歩兵少尉正六位勳六等　櫻岡三四郎　茨城士　芝、芝公園一四號一二

塑造　正六位勳六等　沼田勇次郎　東京平　豐多、澁谷、下澁谷　號一雅　一七九九

日本畫　帝室技藝員正六位　小堀鞆音　東京平　北豐、日暮里、谷中本　一〇一三

日本畫　帝室技藝員正六位　川合芳三郎　東京平　牛込、若宮、二九　號玉堂

西洋畫　正六位勳六等　藤島武二　鹿兒島士　本郷、曙、一三

材料及藥品學、光化學　寫眞術、工藝化學　從六位　鎌田彌壽治　德島平　本郷、東片、一二三

繪畫及圖案、遠近法　東京女子高等師範學校教授從六位　岡田秀　東京平　豐多、淀橋、角筈四四　號秋嶺

建築學、建築製圖、理學　從六位　神木健介　東京平　麴町、下二番、二八

圖案法、製版圖案　正七位　鹿島英二　鹿兒島士　本郷、向ヶ岡彌生、三

日本畫　正七位勳六等　結城貞松　東京平　本郷、西片、一〇　號素明

鍛金　帝室技藝員正七位　平田宗幸　東京平　下谷、二長、五一

西洋畫　從七位勳六等　長原孝太郎　岐阜平　本郷、勳坂、三三六　號止水

西洋畫　兼東京高等師範學校教授從七位　小林萬吾　東京平　赤坂、新坂、六五

塑造、西洋彫刻史　水谷鉄也　東京士　本郷、神明、五四　號佳園

日本畫　松岡輝夫　千葉平　小石川、雜司谷、二三五　號映丘

蠟型　大島勝次郎　東京平　豐多、大久保、百人、三六　號如雲

英語、西洋美術史　兼第一高等學校教授　矢代幸雄　神奈川士　北豐、高田、雜司ヶ谷、四〇三

助教授

鑄造、鑄金製作法　津田信夫　千葉士　下谷、谷中天王寺、一七

圖案、繪畫、用器畫法

鑄造、鑄金製作法

寫眞術、製版術、製版實習

西洋畫

蒔繪、漆工製作法

鍛金

自在畫、用器畫法、手工

日本畫

彫金

勳七等 千頭庸哉 東京士 北豐、瀧野川、上中里 一四八

坂口肫 東京士 本郷、千駄木、三六 號晃南

陸軍工兵伍長 伊東亮次 東京平 下谷、中根岸、五五

中村勝治郎 奈良平 下谷、谷中、三七 號紫明

堀井政吉 富山平 本郷、駒込林、一九六 號正文

勳七等 石田英一 佐賀士 下谷、上根岸、八二

波根義三 山口士 小石川、大塚窪、二四

小泉勝爾 東京士 荏原、品川、北品川宿 一五八 號青堂

八卷於菟三 山梨平 小石川、宮下、三五 號兎山

西洋繪畫史、英語

木彫、塑造

牙彫、彫鏤

囑託教官（囑託順）

調漆

佛語

風俗史

金工史

建築學、西洋建築史

森田龜之助 東京平 豐多、落合、下落合 丸山三二三

畑正吉 富山士 本郷、千駄木、五七

三浦鉚三郎 茨城士 荏原、大井、元芝、六八一 號光風

橋本市藏 東京平 芝、新錢座、五

合田清 東京平 豐多、澁谷、中澁谷、五五

關保之助 東京士 小石川、原、七九

香取秀治郎 東京平 北豐、瀧野川、田端、四三八 號秀眞

岡田信一郎 東京平 牛込、市ケ谷藥王寺、一四

習字
體操教務掛兼庶務掛　陸軍歩兵少尉從七位勳五等　岡田起作　京都士　麹町、下六番、四
美學　赤間運藏　東京平　北豐、瀧野川、田端　三〇七
手工　東京府豐島師範學校教諭　澤村專太郎　滋賀平　北豐、高田、鶯山、二五〇一
色彩學、印刷術　印刷局技師從五位勳四等　原田義作　靜岡平　北豐、高田、雜司ヶ谷　四七二
化學　矢野道也　宮城平　麹町、元衞一、印刷局官舍
寫眞術　小柴英侍　東京平　神田、東松下、一六
寫眞實習　加藤精一　埼玉平　神田、淡路、二ノ四
寫眞實習　宮內幸太郎　千葉平　本郷、湯島天神、三ノ二
物理學、化學實驗　江崎清　東京平　淺草、公園地五區、五四　森芳太郎　大阪平　本郷、本郷六、二八、市村方

建築學　陸軍歩兵少尉正八位　瀧川鼎　東京平　牛込、水道、四四
體操教務掛主任兼庶務掛　陸軍歩兵大尉正七位勳五等　鈴川信一　山口士　東京美術學校構內
教育學、修身　東京女子高等師範學校教授正五位勳五等　下田次郎　廣島士　本郷、西片、一〇
日本畫　平田榮二　東京華　神田、駿河臺袋、三　號松堂
蒔繪、漆工製作法　六角注多良　東京士　小石川、仲、二〇　號紫水
繪畫　渡邊啓三　東京士　北豐、瀧野川、田端　三四一　號香涯
蒔繪、漆工史　辻村延太郎　神奈川平　本郷、向ヶ岡彌生、三　號松華
製圖　米村鍵一　福井士　豐多、戶塚、源兵衞　一五九
蒔繪、調漆實習　小岩峻　岩手士　小石川、西丸、五二　號素光

職員

雇（助手）

彫金　海野清　東京平　本郷、動坂、三二七

製版術、製版實習　小林龜五郎　東京平　京橋、入船、三ノ二

化學實驗、工藝化學　鈴木宮吉　靜岡平　北豐、瀧野川、田端一二〇、長口方

彫金、工藝化學金工製作法　神矢敎親　東京平　本郷、駒込林、三七號龍珉

西洋畫　田邊至　東京士　北豐、瀧野川、田端、一〇〇

日本畫　篠田十一郎　岐阜平　北豐、瀧野川、田端、號柏邦四九八

鍛金　野口六三　東京士　麹町、永田、二ノ一鍋島邸辻方

美術史研究室　戸部隆吉　石川平　小石川、林、六三號隆古

陸軍步兵少尉正八位勳六等

寫眞實習　淺井甚三郎　東京平　本郷、湯島天神、二ノ二七

圖案科第二部教室　前田祥吾　東京平　赤坂、檜、二

美術史研究室　田邊孝次　東京士　本郷、動坂、一二〇

囑託指南（囑託順）

柔道　井上縫太郎　東京平　本郷、湯島同朋、七

劍術　木村敷秀　東京士　本郷、眞砂、三七

學校醫（囑託）　濱野太吉　千葉士　下谷、上野櫻木、三三

書記

庶務掛主任兼敎務掛　屋代鈇三　東京士　北豐、瀧野川、田端、二六三

弓術指南　兼美術審査委員會書記從七位

會計主任　從七位勳八等　足立芳五郎　東京平　麹町、三番、七七

教務掛兼庶務掛　勳七等　増井兼吉　東京平　下谷、谷中眞島、一

會計掛　中澤治之助　東京平　北豐、日暮里、日暮里　一〇六〇

文庫掛主任　美術審査委員會事務囑託　北浦大介　奈良士　北豐、高田、雜司ヶ谷　鶴卷、三八〇

會計掛　藤岡福三郎　東京平　本郷、弓、一ノ二七

雇

庶務掛兼教務掛　芹澤閑　茨城士　麻布、網代、一

會計掛　中島新助　東京平　小石川、大塚坂下、六〇

監視　西村綾雄　東京士　東京美術學校構内

會計掛　杉浦青治　愛知平　本郷、駒込林、二五

庶務掛兼教務掛　東谷七三郎　青森平　下谷、上根岸、一一八

教務掛兼庶務掛　吉原長宗　靜岡平　下谷、上野櫻木、二三　翠松軒方

文庫掛　森泉倉三　長野平　本郷、根津清水、七

文庫掛　青山正治　東京士　下谷、谷中上三崎南、六〇

休職員

大正六年二月十五日休職　教授　福井信之進　東京士　北豐、巢鴨、上駒込　號江亭　傳中、九五

生徒及特待生姓名（大正七年十月三十一日調）

日本畫科第一年

永井武雄 東京士　古川龍夫 栃木平　松村茂雄 長野平
森田才一 愛知平　宮澤鐵次郎 長野平　池之上愿 鹿兒島平
秀島英麿 東京士　荒井鋼一郎 山形平　上野占己地 山梨平
小島三好 新潟平　白井壯太郎 東京平　入江威 東京平
水野穣 兵庫士　國則薫 高知平　村島酉一郎 富山士
金原輝雄 東京平　野口謙次郎 佐賀平　遠山伊藏 奈良士
丹羽福藏 兵庫平　日向三郎 茨城平　内ヶ崎敏雄 宮城平
齋藤敎雄 東京平　落合寛茂 長野平　木村俊雄 宮城士
後藤德次 秋田平　宮川利之 石川平　山口三郎 東京平
多賀谷信乃 群馬平

日本畫選科第一年

李漢福 朝鮮　佐々木猛 東京平　難波千尋 岡山平

日本畫科第二年

渡部幸雄 福島士　高田美一 香川平　常岡文龜 兵庫平
境田道德 宮崎士　樋口哲三郎 新潟平　坂木喜次 東京平
根上富治 山形平　吉澤直貞 長野平　川浪養治 佐賀平
宮地芳信 和歌山平　西保 長崎士　飯村哲 茨城平
伊藤孝太郎 東京平　橋本德男 長崎士　廣瀨乾一郎 福島平
佐々木左作 長野平　市川利三郎 三重平　安念敬夫 富山平
倉原菊二 富山平　川村治夫 東京士　永峯一正 香川平
高野健兒 岡山平　宮崎賢次 靜岡平　神山幸治 栃木平
廣川省三郎 新潟平

日本畫選科第二年

平田勇 東京平　繁岡鑒一 東京平　中谷久次郎 大阪平

日本畫科第三年

畠山錦成 石川平　長谷川龍三 神奈川士　石田吉次 高知平
池田幸太郎 佐賀平　松島松太郎 岡山平　石井喜三郎 千葉平
平岩三郎 愛知平　遠藤敎三 東京平　津田要作 愛知平
牧川楢一 大阪平　榎本親智 東京士　高澤哲之介 富山平
岩田酉介 石川士　花村喜代藏 靜岡平　大山深藏 岡山平
小野虎雄 群馬士　岩切勇 鹿兒島士　小竹源一郎 富山平
山崎良夫 廣島士　橋重吉 石川平　中村久松 石川平
小川誠一 香川平　中井三介 香川平

日本畫選科第三年

柳晴一 東京士　渡嘉敷唯尹 沖繩士　鍋島紀雄 佐賀士

日本畫科第四年

廣川操一 新潟平　山口將吉郎 山形士　林虎雄 岡山平
西垣隆滿 東京平　松田茂雄 大阪平　臼井剛夫 長野平
安田信一 北海道士　中島英一 岐阜平　須田質 福島士
岡田季雄 香川士　飯田九一 神奈川平　山見珊司 福岡平
濱砂重光 宮崎平　漆原啓之助 香川平　川瀨忠雄 三重平
岡田忠邦 香川平

日本畫選科第四年

足立良一 東京平　長谷川秀孝 東京平

日本畫科卒業期

望月尙 山梨平　狩野政次郎 東京士　柳澤眞一 長野平
井上恒也 靜岡平　小倉和一郎 東京平　大貫堅 栃木平
番匠雄岳 石川平　石井義一 千葉平　森戩一 高知士

村上友一　富山平

日本畫選科卒業期

伍　靈　支那　吉村忠夫　東京士　高木保之助　東京平

西洋畫科第一年

藤　彦衛　岡山平　濱田重雄　鳥取平　坂入潔　茨城平

佐伯祐三　大阪平　松崎季次　埼玉平　川合修二　東京平

相島宏　埼玉平　田代謙助　福岡平　栗田博　東京平

深澤省三　岩手平　佐々木慶太郎　滋賀平　吉田四郎　東京士

小野安治　岡山平　西内清顯　高知士　伊藤喜朔　東京平

進藤常雄　山口士　金子梅吉　福岡平　小林太六　愛知平

中島親史　兵庫平　石川吉次郎　山形平　山田忠郎　北海道平

和田茂生　大分士　楠目成照　高知士　山田新一　宮崎士

杉山新樹　愛知平　田中戊一　東京平　御園生義太　山口平

佐藤九二男　北海道平　川島昌介　栃木平　江藤純平　大分平

岩田藤七　東京平　首藤讓　大分平　鈴木大造　和歌山平

鹽田信夫　群馬平　大野加久二　愛知平

西洋畫選科第一年

夏伯鳴　支那　高春萊　支那　周天初　支那

伍子奇　支那　李鐘禹　朝鮮

西洋畫科第二年

三田康　東京平　一木隩二郎　靜岡平　原愛造　和歌山平

小野藤一郎　大阪平　松本鋭次　大阪平　大江寅五郎　佐賀平

小平正彦　長野平　鈴木啓二　北海道平　佐々木松次郎　靜岡平

早川桂太郎　北海道平　飯守好雄　和歌山平　河野榮一　東京平

渡邊昇 愛知平　中村武平 福岡平　村上三郎 東京平
光石藤太 佐賀士　田中英之助 兵庫平　榎本榮一 和歌山平
鈴木誠 岐阜平　松尾至誠 熊本士　大海清藏 山形平
園部邦香 和歌山平　山田勇 東京平　松本靜太郎 岡山平
長屋勇 山口士　岡本喜藏 東京平　坂本幸一 岡山平
笠原千之 長野士　山口健一 岡山士　菅野泉 宮城士
熊谷惣太 山口平　三谷浩三 香川平　佐分眞 愛知平
横尾新 佐賀士　窪田照三 大分平　高桑千代雄 北海道平

西洋畫選科第二年

汪亞塵 支那　周勤豪 支那

西洋畫科第三年

石河光哉 長崎士　前田寛治 鳥取平　北野和高 宮城平

牧島要一 群馬平　伊原宇三郎 德島平　久保寺辰夫 東京士
田口省吾 秋田平　齋藤保 東京平　横山繁行 熊本士
角田祐吉 山梨平　津田耕造 福岡平　田中繁吉 福岡平
市川赳夫 東京士　寺田良作 愛知平　鈴木亞夫 東京士
明石眞三 埼玉平　出口文雄 福岡平　横山與作 靜岡平
上泉二郎 山形士　藤原覺一 廣島平　北爪益雄 埼玉平
岡村浩一 埼玉平　河南拓 石川士　船橋治彥 愛知士
內田了爾 埼玉平　川村一郎 東京平　畑山俊夫 高知士
片岡銀藏 岡山平　柏原安治 大阪平　脇田米一 愛知平
米須秀龜 沖繩士　鈴木辰之助 神奈川平　服部不二彥 京都士
鈴木千久馬 福井士

西洋畫選科第三年

陳洪鈞 支那 劉錦堂 臺灣

西洋畫科第四年

湯川治郎 廣島平　谷口國助 香川平　佐藤恭次郎 島根平
河井守秀 大分平　服部季彦 福岡士　坂本孝正 福島平
和田香苗 鹿兒島士　勝田哲三 大阪士　宮本恒平 東京士
金澤秀之助 秋田平　人見純一 東京士　中村研一 福岡平
水平讓 秋田士　江川武 宮城平　小笠原勝 大阪士
及川文吾 岩手平　吉岡基太郎 大阪平　佐々木節郎 宮城平
澁谷泰次郎 大阪平　中山巍 岡山士　森本眞一 奈良平
小堀稜威雄 東京平　武藤辰平 佐賀平　山喜多二郎太 福岡士
前橋信助 栃木平　吉本政吉 東京平　內藤進一郎 兵庫平
石井一 宮城平

西洋畫選科第四年

胡毓桂 支那　關本勇治 神奈川平　許敦谷 支那

西洋畫科卒業期

澁谷重保 神奈川平　大津逸次 熊本平　岡田富藏 東京平
小原整 鳥取士　島崎敏夫 北海道平　鍋山伴六 福岡平
武井武雄 長野士　西村叡 神奈川平　井澤龍海 長崎士
藤谷俊造 廣島平　高橋涉之介 新潟平　太田勝二 東京平
齋藤廓 和歌山平　藤川宇助 岩手平　野口六藏 長崎平
神谷萬吉 愛知平　澤枝重雄 北海道平　吉岡貫一郎 宮城平
有光健治 山口平　宮原七二 鹿兒島平　大內齊 東京平
小野麟之助 愛知平　須永美佐雄 栃木平　岡部敬之助 栃木平
里見勝藏 京都平　能勢龜太郎 鳥取平　宮坂勝 長野平

頓野保彦 山口士　蘆立文雄 宮城平　鈴木清一 茨城平

西洋畫選科卒業期

崔國瑤 支那

彫刻科第一年

中川清 滋賀平　矢野判三 岐阜平　荒居德亮 栃木平

今村重三郎 大阪平　三上新太郎 埼玉平　木内五郎 東京平

門脇正夫 東京平　小林金央 埼玉平　齋藤又乙 千葉士

彫刻選科第一年

竹田與作 富山平　山内倉藏 新潟平　吉川保正 岩手士

彫刻科第二年

田中林藏 富山士　堀江尚志 岩手士　田中二三郎 東京平

松田尚之 石川平　岩田基雄 東京士　安藤照 鹿兒島士

小笠原貞弘 山梨士　兒島矩一 岡山平　江藤陽吉 大分士

泉谷喜一郎 石川平

彫刻選科第二年

吉川政治 奈良平　久保田吉太郎 茨城平　飛田朝次郎 茨城平

大内正 東京平

彫刻科第三年

羽下修三 新潟平　中牟田三治郎 福岡平　橋爪英夫 福岡平

大塚尚武 石川士　小田光章 長崎平

彫刻選科第三年

杉本三郎 東京平　森學 香川平　弘田伸身 高知士

彫刻科第四年

大村安治郎 富山平　加藤鬼頭太 東京平　雨宮治郎 東京平

川邊繁藏 埼玉平　中島東洋 石川士　鷲塚與三松 富山平
武井直也 長野平

彫刻選科第四年

黄土水 臺灣　山本金三郎 石川士　長田滿也 東京平
西村才藏 兵庫士

彫刻科卒業期

秦紹世 富山平　鎌野正美 香川平　本牧太一 神奈川士
笹野惠三 神奈川平　米治一 富山平　池田卯之助 香川士
井上襄 兵庫士　野口益 石川平　安藤春雄 茨城士
福田正一 香川平　島村治文 高知士

彫刻選科卒業期

山脇二太郎 新潟平　後藤清一 茨城平　白石盛香 宮崎士

佐藤三重三 三重平

圖案科第一年（第一部ハ工藝圖案　第二部ハ建築裝飾）

第一部

熊谷年郎 静岡士　小林吉一 東京士　大橋寔 京都平
加曾利鼎造 千葉平　石崎猛夫 茨城平　田代忠 熊本士
橘大含 石川平　柿田秀雄 石川士　森田政雄 長崎平
中山修三 富山平　森正 石川平

圖案科第二年

第一部

原祐四郎 京都士　長澤基 群馬士　吉田謙吉 新潟士
水谷仲吉 東京平　吉村二郎 長崎平　齋藤芳太郎 香川平
高橋久勝 香川平　原規一 石川士　谷内治橋 富山平

新井賢次 群馬平

第二部

田口戍光 茨城平　雪野元吉 神奈川平　鈴木喜三郎 大阪平

諫早幹 長崎士　吉田五十八 東京平

圖案科第三年

第一部

池本治之 京都平　大坪重周 東京士　上山藹 東京士

綾部謙吾 宮崎士　德江重武 東京士　小川三樹 靜岡平

小川森太郎 東京平　田中俊 京都士　片岡豐 東京士

第二部

水谷武彥 東京平　土井軍治 福岡平　高麗建城 石川平

圖案科第四年

第一部

楠永一直 高知士　塚本閤治 東京士　森田武 京都士

上野正之助 富山平　熊田猛夫 福島平　手島英雄 東京平

中村正雄 靜岡平　梨本正太郎 東京平　淺地豐治 石川士

辻野幸吉 石川平　宮崎健治 石川士　中島精一 石川士

岩崎武夫 石川士

第二部

僊石惠四郎 島根平　岡田捷五郎 東京平　大瀧丈夫 東京士

圖案科卒業期

第一部

寺田元吉 富山平　關敬信 茨城士　新田長次郎 長野平

竹林義一 富山士　伊澤晴太郎 福島平　藤崎邁象 福岡平

高杉正實 廣島平　吉岡吉太郎 石川平　北久衛 石川平
黑木資一 鹿兒島士　棚田多作 富山平　高橋鐵雄 石川士

第二部

山田猷 埼玉平

金工科第一年

杉浦基史郎 愛知平　横山正義 香川平　水町程之 東京士
水谷育太郎 東京平　高澤與吉 千葉平

金工科第二年

深瀨嘉臣 東京平　山本正鷹 東京平　山口中 茨城平

金工選科第二年

大橋芳雄 東京平

金工科第三年

池田康次 東京平　黑木爲義 香川平　小宮新吉 東京平
松村治吉 富山平　山口全 山梨平

金工選科第三年

藤本正義 東京平　小澤小一郎 新潟平

金工科第四年

長谷川義隆 香川士

金工科卒業期

井關知溫 鳥取平　杉浦哲三 北海道平　染谷駒太郎 東京平

金工選科卒業期

川上勝三郎 東京平

鑄造科第一年

森村酉三 群馬平　林萬壽人 廣島士　齋江榮 鳥取平

佐原亮太郎 東京平

鑄造科第二年

仁王浩一郎 靜岡平

鑄造科第三年

內田培根 熊本士　木田梧樓 大阪平　蒔田三千藏 青森士

山川武雄 三重平

鑄造科第四年

北原三佳 長野平　鳥山貞三 東京平　豐田勝秋 福岡士

鑄造科卒業期

中島助次郎 富山平

漆工科第一年

駒見篤太郎 富山平　伊達春郎 宮城士　福村善久 石川平

岩永正男 長崎平

漆工科第二年

西野健一 富山平　飯川隆吉 石川平　勝山重典 山形士

漆工選科第二年

鑓田博夫 靜岡平

漆工科第三年

廣幡武人 岡山平　溝口三郎 東京華　近藤將照 群馬平

櫻井繁香 富山平

漆工選科第三年

宮井茂太郎 香川平

漆工科第四年

城川重太郎 富山平　清水正雄 神奈川平　菊池馨 青森平

漆工科卒業期

鶴田恒二郎 石川平　松田權六 石川平　辻正作 香川平
池龜文次 新潟平　福澤健一 富山平　北森角二 富山平

漆工選科卒業期

幸王好太郎 奈良平　高井榮四郎 新潟平　稻田光太郎 東京平
高山光明 東京士　吉田源十郎 高知平

製版科第一年

大江恒吉 東京士　木村義郎 廣島平　宇野先太郎 滋賀士
鴨光三 香川平　持永家貞 長崎平　小泉繁 東京平
須田孝之 富山平

製版科第二年

小川省吾 長野士　柿沼保次 埼玉平　田沼米吉 東京平

野村藤吉 石川平　相生垣貫二 兵庫平　野尻榮一 富山平
津村三郎 兵庫士　鈴木弘 東京士

製版選科第二年

笹川春雄 東京士

製版科第三年

生松靜夫 島根士　島井武雄 福岡士　風見通之助 茨城平
西堀定夫 東京平　長崎晋 東京士　今井直一 東京平
矢澤三壽 東京士　岡本慶次 長野士

製版選科第三年

古坂正勝 東京士

臨時寫眞科第一年

內野國治郎 山口平　市川正人 愛知士　樋口重親 福岡平

松村芳男 東京平　有賀質 東京平

臨時寫眞科第二年

吉田英男 岩手士　松尾義明 佐賀士　河上兼士 山口士
原田良雄 山口士　小貫道貫 茨城平　西村一郎 東京士
中山十衛 福島平　小野郁也 山形士

臨時寫眞科第三年

高橋環 新潟平　荻原義彦 栃木平　山口勇 山形平
辻一郎 東京平　萩原退藏 群馬平　伊藤武 東京平

臨時寫眞選科第三年

宮村一則 熊本士

圖畫師範科第一年

三浦直政 大分平　鎌倉芳太郎 香川平　松崎卯市 福岡平

飛田昭喬 福島平　長谷川源三郎 愛知平　谷山藤四郎 岡山平
一井爲治郎 滋賀平　大東喜一 奈良平　神津義治 長野平
牧田實 埼玉平　角田耕 山梨平　石橋孟 長崎士
土屋常義 長野平　星野金之助 埼玉平　藤井清 廣島士
福田寛 青森平　日野義英 廣島平　永田元 鹿兒島平
古谷虎武 和歌山平　田近利夫 大分士

圖畫師範科第二年

大山新一 大分平　中村中 廣島平　石野視幸 岡山平
齋藤好雄 群馬平　新田維義 島根平　原義人 長崎士
金井勝衛 群馬平　加藤龍治 宮城平　鹿兒島兼三郎 東京士
宇田喜久雄 福島士　鎌田次郎 岩手平　大八木定治 山形平
淺井重次 大阪士　利府勝吉 岩手平　松岡銀六 三重平

圖畫師範科第三年

伊藤武夫　愛知平　近藤廣記　宮城平　松岡圭三郎　靜岡平
向井正一　奈良平　杉山司七　富山平　前田伊作　靜岡平
佐藤湊　山形平　山下一雄　佐賀平　池邊一夫　大分平
卜澤廣　埼玉平　染川治次　佐賀平　水谷英一　福島士
上貞久三　廣島平　木村實　長野平　山口禎二　福岡平

研究生

○印ハ選科生ヲ示ス

日本畫　得重常太郎　山口平
漆工　高野重人　熊本士
日本畫　鷹巢豐治　佐賀平
日本畫。武井輝三　栃木平
西洋畫。山田隆憲　熊本士
西洋畫　織田信大　東京華
西洋畫　大久保作次郎　大阪平
日本畫　勝山恒躬　山形士
彫刻　北原鹿次郎　福岡平
西洋畫　鈴木淳　東京士

金工。前田實　東京士
西洋畫　鈴木巖　愛知平
西洋畫　清水七太郎　岩手平
日本畫。鈴木六三郎　東京平
西洋畫　河上大二　山口士
西洋畫　河越虎之進　長野平
西洋畫　鱸利彦　千葉平
西洋畫　佃武昭　岡山平
西洋畫　龜井實　東京士
彫刻　岩越二郎　熊本士
彫刻　宮川準一　石川士
日本畫　山崎善次郎　佐賀士
日本畫　富田賢太郎　愛知平
西洋畫　石原玉吉　埼玉平
日本畫　服部謙一　愛知平
西洋畫　高橋萬之丞　長野平
西洋畫　細井文次郎　愛知平
西洋畫　小泉素彦　東京士
西洋畫　谷口午二　鹿兒島士
西洋畫　高梨辰　神奈川平
日本畫　湯川直春　大阪平
彫刻　濱田三郎　神奈川平
日本畫　岩田正巳　新潟平
西洋畫　加納川郁之助　大阪平

西洋畫　淵　弘三　佐賀士
彫　刻　○勝海俊雄　靜岡平

特待生

日本畫科第二年　渡部幸雄　福島士
日本畫科卒業期　望月　尙　山梨平
西洋畫科第三年　石河光哉　長崎士
西洋畫科第四年　湯川治郎　廣島平
彫刻科第四年　大村安治郎　富山平
彫刻科卒業期　秦　紹世　富山平
圖案科第二部第三年　水谷武彥　東京平
圖案科第一部卒業期　關　敬信　茨城士
漆工科第三年　廣幡武人　岡山平
彫刻　奥原謙太郎　東京士
西洋畫　川合改次郎　靜岡平
日本畫科第四年　廣川操一　新潟平
西洋畫科第二年　三田　康　東京平
西洋畫科第三年　前田寬治　鳥取平
西洋畫科卒業期　大津逸次　熊本平
彫刻科第四年　加藤鬼頭太　東京平
圖案科第二部第二年　田口戌光　茨城平
圖案科第一部第四年　楠永一直　高知士
金工科第四年　長谷川義隆　香川士
漆工科卒業期　鶴田恒二郎　石川平

卒業生姓名

（日本畫科西洋畫科彫刻科圖案科及圖畫講習科中○印ハ普通圖畫教員タルノ學科ヲ履修セシモノ△印ハ特別詮議ニ依リ×印ハ受驗ノ上圖畫教員免許狀ヲ下付セラレタルモノ、圖畫師範科中ノ○印ハ圖畫手工ノ外習字ノ免許狀ヲ下付セラレタルモノヲ示ス）

日本畫科

明治二十六年七月本科卒業

東京美術學校　關　保之助　東京士
農商務省特許局　○岡本勝元　石川士　號秋石
大阪市南區天王寺茶臼山町雲水寺　內海輝邦　島根士
愛知縣立第一高等女學校　○山田於菟三郎　東京士　號晴村
東京府北千住町四ノ六四　高屋德次郎　岐阜士　號肯哲
京都市高等女學校　○倉田德松　三重平
下谷區池之端茅町二ノ一九　○横山秀麿　東京平　號大觀

明治二十六年七月選科卒業

小石川區指ヶ谷町五　本多佑輔　東京士　號天城

明治二十七年二月本科卒業

横濱市本牧三溪　下村晴三郎　東京士　號觀山

東京美術學校　。島田佳矣　東京士　號景州

大正元年八月卅一日死亡　。西郷規　長野士　號孤月

廣島縣双三郡吉舍村　。鵜殿長庚　靜岡士

遞信省經理局　。小栗常藏　東京平

明治二十七年七月本科卒業

東京美術學校　。白濱徵　長崎士

山口縣岩國中學校　。原陽一　山口士

東京府巢鴨町宮仲一九七五　△志賀靜山　大阪平

三重縣工業試驗所　。有元轍三郎　岡山平　號五村

明治二十八年七月本科卒業

東京帝室博物館　。溝口禎二郎　東京士　號宗文

東京府入新井村新井宿字山王二六八二　。龜岡末吉　東京平

東京美術學校　。小島光眞　岐阜平　號獨山

千葉縣千葉町寒川新宿　。島田友春　山口士

明治卅五年四月十九日死亡　。三輪青谷　愛知平

廣島高等師範學校　。原貫之助　福岡士　號白山

東京美術學校　。鈴川信一　山口士

貴族院議員　。堤雄長　東京華

三重縣飯南郡松坂町中町一八七〇　殿村左五平　三重士　號小霞

明治四十四年九月十六日死亡　菱田三男治　長野士　號春草

大正七年十一月一日死亡　安藤時藏　東京士

東京府豐島師範學校　。井上良慶　新潟平

麹町區富士見町五ノ一七　。小倉要　東京士

神戸市私立親和高等女學校　△小林一意　群馬士　號高坡

東京府瀧野川町田端東臺通四九〇　。小川三知　靜岡士　號山嶽

明治二十八年二月選科卒業

大正三年八月三日死亡　德田鎬一　靜岡平

明治二十八年七月選科卒業

神田區雉子町二三百瀨方　赤羽知足　長野平　號雪峯

明治二十九年三月本科卒業

明治三十七年四月五日死亡　。佐伯德介　山口士

大正六年四月廿七日死亡　天草友雄　熊本士　號神來

本郷區湯島新花町九七　中村端三　東京士　號如等

大正五年六月六日死亡　。志賀貞三郎　石川士

山口縣師範學校　。福原謙之助　山口士

私立錦城中學校（神田、錦町）　。戸田忠雄　東京華

明治二十九年五月本科卒業

明治四十三年四月六日死亡 ○田村健次郎 東京士

明治二十九年七月本科卒業

私立女子大學（小石川、高田） ○高橋勇 福島士 號鳥谷

大阪市南區天王寺眞法院町 △山脇雄吉 鳥取平 號皓雲

靜岡縣掛川中學校 △丹羽五十吉 東京士

石川縣江沼郡山代溫泉 ○豐岡保太郎 千葉平 號東江

下谷區谷中天王寺町三一 ○木村信太郎 茨城士 號武山

宮城縣牡鹿郡石卷町後町 ○佐藤榮三郎 宮城平

私立京華高等女學校（小石川） ○鈴木武之助 東京平 號向稜

大阪府四條畷中學校 ○金子泰 東京士

麴町區富士見町一ノ三七 △松原善人 長野士

在米國 高井元吉 廣島平

北海道札幌師範學校 ○菅原次郎 北海道平 號翠洲

山口縣吉敷郡西岐波村二九九二 ○加藤一郎 山口平

明治三十八年三月奉天ノ役戰死 ○後藤矩一 山口平

埼玉縣浦和中學校 ○櫻井節雄 靜岡士 號雪山

明治三十七年八月三十日遼陽ノ役戰死 ○羽生道也 鹿兒島士

福島縣岩瀨郡長沼町金町一一三 ○桑名三郎 東京平

本郷區動坂町六二 ○濱中半三郎 東京平 號移山

明治三十六年十二月十八日死亡 田口鎌三郎 栃木平

明治三十年七月本科卒業

東京美術學校 ○渡邊啓三 東京士 號香涯

東京美術學校 結城貞松 東京平 號素明

私立精華高等女學校（麴町） ○豐田宇三郎 山形平 號天來

第一高等學校 ○平井富夫 東京士 號芳亭

明治三十九年八月一日死亡 ○柿山蕃雄 熊本士

死亡（年月日不詳） ○桑原彌太郎 岡山士

東京府瀧野川町西ケ原一三 ○乾長光 高知士 號南陽

福岡醫科大學 加藤紀高 茨城士 號玉亭

大正七年十二月六日死亡 木村俊秀 千葉平 號淡香

大正二年八月七日死亡 ○川崎周太 新潟平

神奈川縣橫須賀高等女學校 村岡貞一 佐賀士

新潟縣長岡女子師範學校 ○藤卷直治 新潟平 號嘯月

學習院 ○今田直策 宮城平

東京府巢鴨町一〇六一 ○早崎稗吉 東京士

石川縣工業學校 山本昌 東京士 號光汀

東京女子高等師範學校兼東京美術學校 ○岡田秀 東京平 號秋嶺

東京府第一中學校 ○高城次郎 東京士 號碧水

帝室林野管理局 川勝勘兵衛 東京士

私立東京中學校（神田）私立麻布中學校（麻布） ○河原崎謙吉 東京平

鹿兒島市立商業學校 ○田中國廣 鹿兒島士

福島縣師範學校 ○服部保一 福島士

千葉縣市原郡菊間村三四六二 ○小出魯一郎 千葉平

牛込區若松町一五　○鵜川俊三郎　東京士　明治三十九年八月二十九日死亡

小石川區原町六一　○鈴木雪哉　栃木士　桃澤重治　長野平

明治三十一年七月本科卒業

赤坂區青山南町六ノ六一　○山崎勇馬　高知士　横濱市青木町字反町四五二　三浦二郎　大阪士　號龍舟

兵庫縣御影師範學校　○岡村道三　北海道平　明治四十四年四月死亡（日不詳）　○大平正曹　德島士

北海道函館中學校　△山縣丹治　秋田士　明治三十三年三月五日死亡　○齋藤新助　岡山平

大阪市南區東賑町一八啓文社　○飯尾駒太郎　岐阜平　神田區五軒町二〇　松平乘長　東京華

農商務省山林局　○大石榮雄　靜岡士　號立山　小石川區表町七二　○高橋玄道　東京平

熊本縣第一師範學校　○藤原美治郎　大分平　號竹鄕　德島縣德島中學校　○清家恕　愛媛士　號鐵山

三重縣四日市市南濱田　○杉村僊吉　三重平

明治三十一年七月選科卒業

下谷區中根岸町五六　狩野誠信　東京士　死亡（年月日不詳）　河津祐信　東京士

明治三十二年七月本科卒業

明治三十八年九月二十三日死亡　○堀內喜一　富山平　青森縣弘前市　○工藤晨　青森士

明治四十四年六月十四日死亡　○大森新之助　東京平　號敬堂　福岡縣八幡市枝光上本町二丁目　○梶川儀夫　千葉士　號雨城

新潟縣村松中學校　○森田豐次郎　東京平　號春光　山形縣山形中學校　○桃井義一　山形士

福岡縣三池郡銀水村字倉永　○松里政登　福岡士　號清風　岡山縣笠岡町立實科女學校玉島町立實科女學校　○跡見三次郎　東京平

前出　○河原崎謙吉　東京平

明治三十二年七月選科卒業

大阪府東成郡天王寺村一四七七　御船綱手　大阪平　國民新聞社（京橋）　平福貞藏　秋田平　號百穗

赤坂區青山北町六ノ二五　小山亮　茨城平　號友卿

明治三十三年七月本科卒業

牛込區河田町一四　○移川三郎　福島平　號浩哉　德島縣德島中學校　○生井平太郎　岐阜平

私立成城學校（牛込、原町）　○綱島政治　岡山平　號靜觀　私立芝中學校（芝）　○竹ノ下舊俊　鹿兒島士

大正三年五月廿八日死亡　。鶴田幾太郎　山梨平　號機水

未詳　。伊原六郎　埼玉士

明治三十三年七月選科卒業

私立高梁順正女學校（岡山縣）　小倉善三郎　岡山平　號蘇山

靜岡縣靜岡中學校　×土佐光一　京都士

明治三十三年十月本科卒業

松江市石橋赤崎　。宅和鋼一　島根士

明治三十四年七月本科卒業（鵜川俊三郎ハ三十年卒業シタルモ再ヒ入學シ圖畫教員タルノ課程ヲ修メタリ）

大正四年六月二十日死亡　。中原佐治郎　島根平　號芳煙

東京府中野町塔ノ山三好方　。前波覺次郎　福井平　號鶴年

大正五年四月十三日死亡　有馬龍秀　東京平

三重縣津市弓屋敷　岩井昌三　三重士　號漕浦

島根縣濱田高等女學校　。三浦自也　岩手士

未詳　。中田清　東京平

牛込區大久保余丁町一〇二　筆谷儀三郎　北海道平　號等觀

岡山縣興讓館中學校　。岡野賢三　滋賀士　號鹿城

佐賀縣佐賀工業學校　藤井豐　千葉士　號紫水

本郷區弓町二ノ二九　野口駿尾　東京士

京都市上京區室町通出水下ル　杉野松太郎　廣島平　號僊山

滋賀縣師範學校　。今井重信　三重士　號津城

福井縣丹生郡豐村下野田　。佐々木惣三郎　福井平　號宗峰

和歌山縣師範學校　。石野氏承　石川士　號松堂

明治三十四年七月選科卒業

小石川區宮下町一二　渡邊吉太郎　福井士　號萊渚

明治四十一年五月十一日死亡　田中重次郎　福島士　號磐嶺

死亡（年月日不詳）　森川安次　富山平

本郷區駒込千駄木町二五六森田方　村崎政昶　熊本士　號雅章

明治三十四年九月本科卒業

郡立泉南高等女學校（大阪府）　。關欽哉　東京士　號霞村

明治三十五年七月本科卒業

東京府落合村六二二　。川村東陽　東京士

石川縣金澤第一中學校　。足立啓　東京平

兵庫縣姫路師範學校　。竹內勝　東京士　號水哉

前田　。鵜川俊三郎　東京士

東京府澁谷町下澁谷　杉浦朝武　愛媛士　號非水

三越呉服店（日本橋）　磐瀨純　東京士　號玉岑

大正四年死亡（月日不詳）　田中雅行　東京平

日本橋區通二ノ九　村上金次郎　東京士　號玉實

神奈川縣女子師範學校　。山邊知臣　福島平

鳥取縣米子中學校　。岡村吉樹　鳥取士　號葵園

愛媛縣越知郡櫻井村 ○菅 季吉 愛媛平 號橘街

新潟縣三條中學校 ○秋保 親美 山形士

熊本縣八代中學校 ○伊勢 寛一 長崎士

埼玉縣大里郡熊谷町筑波町三三六四 ○高橋 來平 埼玉平 號信峰

富山縣工藝學校 ○中島 次郎 東京平 號秋圃

明治三十五年七月選科卒業

京都日出新聞社 ○淺野 春二 京都平 號春嶂

日本陶器會社（名古屋市） 後藤 浪吉 東京平

麹町區山元町二ノ一四 田中 忠彦 廣島平 號月觀

神奈川縣橘樹郡大師河原 横山 新太郎 神奈川平

明治三十六年七月本科卒業

福岡市外西新町 永倉 茂 千葉士

牛込區大久保余丁町六七 ○大智 恒一 愛媛平 號勝觀

在米國 ○古田土貞治 栃木平 號雅堂

山形縣庄内中學校 ○小貫 廉 東京平

東京府大久保町東大久保二三二 ○秋野 外也 東京士 號靜外

小石川區小日向臺町二ノ二六 金井 忠三 長野平 號廣彰

京都市上京區聖護院西畑 大聖寺宗三郎 京都平 號宗軒

下谷區天王寺町二三 鈴木 久治 秋田平 號空如

東京大林區署 櫻井 清 東京士

明治四十一年五月十一日死亡 ○中島 重丸 福岡士

新潟縣北蒲原郡五十公野村四七〇四 ○西方 俊造 新潟平 號春叢

下谷區上野櫻木町二 ○久野龜之助 東京平

明治三十六年七月選科卒業

芝區櫻田和泉町八 伊藤 繁延 東京士 號龍涯

堺市高等女學校 長谷川 綠邦 福島平 號等仲

大阪市北區西梅ヶ枝町八五九 福岡 義雄 東京士 號青嵐

尾道市土堂町一六〇平田方 横山 爲雄 秋田士

佐賀縣佐賀高等女學校 井芹 一二 熊本士

明治三十七年三月本科卒業

大正七年四月三十日死亡 葛 揆一郎 岩手士 號江月

明治三十七年七月本科卒業

東京美術學校 ○松岡 輝夫 千葉平 號映丘

佐賀縣有田工業學校 ○腹巻勝太郎 佐賀士

東京府日暮里町日暮里一一〇三 笹島 秀彌 山形平

本郷區駒込追分町五八 田中 和一 東京平 號菁山

東京府日暮里町谷中本一〇三二 吉原 義雄 東京平 號雅風

三越呉服店（大阪） 澤津 昌利 島根平 號松溪

明治四十一年十一月死亡（日不詳） 金原 利一 千葉士

本郷區駒込千駄木町五〇 ○川面 義雄 東京平 號萊山

静岡縣師範學校　。渡邊忠三郎　新潟平　號雪來　内務省造神宮使廳　。榎本正之助　東京平　號黄石

本郷區駒込神明町一六　。長峰登良雄　千葉平

明治三十七年七月選科卒業

私立女子美術學校（本郷）　×益田珠城　宮崎士　號玉城　山口縣山口中學校　×佐治友八　福島平　號梅亭

本郷區駒込千駄木町四七　植松盛之助　長野平　號素鳳

明治三十八年七月本科卒業

未詳　。毛利教定　東京平　東京帝國大學文科大學史料編纂掛　。護城惠滿　廣島平　號鳳山

郡立栃木高等女學校（栃木縣）　。有安助二　神奈川士　號玉年　明治神宮造營局　。牧野左武　茨城士　號桂堂

静岡縣沼津中學校　。前田千寸　高知平　本郷區湯島新花町三四　。井上良介　山口平　號蘭崖

明治三十八年七月選科卒業

本郷區駒込上富士前町三　勝田良雄　福島士　號蕉琴　小石川區關口町一八〇寺崎方　三浦孝　東京士　號廣洋

東京府巣鴨町巣鴨二ノ一七　金子朔太郎　東京士　號素水　神奈川縣中郡大磯町　古賀源四郎　佐賀平　號玄洲

東京府代々幡村代々木上原一二〇七　木村鑛吉　京都平　號廣畝　東京府日暮里町渡邊町一五　伊藤豐吉　東京平　號稜春

東京府日暮里町日暮里一一　石島文太郎　茨城平　號古城　湊川尋常高等小學校（神戸）　吉田正七　静岡士　號深草

明治三十九年四月本科卒業（鈴木雪哉ハ三十年卒業シタルモ再ヒ入學シ圖畫教員タルノ課程ヲ修メタリ）

小石川區林町五七　。大村友雄　石川平　號素峯　本郷區眞砂町三三　。西村喜三郎　大阪平　號青歸

麻布區本村町一二　。水上泰生　福岡士　小石川區原町七八　。橋爪成一郎　石川士　號雪城

明治四十年十二月三十日死亡　。後藤茂啓　静岡士　兵庫縣廚　。小沼直　長野平　號天涯

山梨縣都留中學校　。平山謙一　東京士　前出　。鈴木雪哉　栃木平

明治三十九年四月選科卒業

東京美術學校　平田榮二　東京華　號松堂　大正六年四月十四日死亡　水谷四郎　長野平　號静處

淺草區松葉町七二　平木彌一郎　石川平　號清光

明治三十九年六月選科卒業

本郷區駒込神明町一三　多田雄三　千葉平

明治四十年三月本科卒業

東京美術學校　東京士　號青堂　。小泉勝爾

新潟縣北蒲原郡濁川村　新潟平　近藤治義

私立明治大學附屬中學（神田）　埼玉平　號不鳴　。山田廉

高松市新鹽屋町一四一　香川平　號五風　。江村清三郎

東京府千駄ヶ谷町原宿三〇六　新潟平　號林風　。佐々木璋松

神奈川縣橘樹郡鶴見町一四三九　神奈川平　號撫山　。飯島保次郎

福井縣武生町浪花　福井士　。森田靜也

明治四十年三月選科卒業

千葉縣市川町眞間　東京士　號洗鱗　桐谷長之助

赤坂區榎坂町四　愛知平　永井幾麻

明治四十年五月本科卒業

東京府第一高等女學校（淺草）　福島平　號天泉　。荻生守俊

堺市女子手藝學校　熊本士　號蘇仙　。西岡純平

奈良女子高等師範學校　東京士　號霞邨　。多賀谷健吉

本郷區駒込動坂町一〇〇　富山平　號逸陵　。鹽崎一郎

青森縣弘前高等女學校　山形士　。相馬治四郎

東京帝室博物館美術部　東京士　號墨川　。榎本省三

牛込區原町三ノ六　佐賀士　號靈山　磯野壽吉

東京府品川町北品川本宿一二　東京平　號耕花　山村豐成

大正四年二月十五日死亡　兵庫士　號美風　中川龍

山形縣鶴岡高等女學校　山形士　。相馬正巳

明治四十年五月選科卒業

大正三年七月十四日死亡　福富常三　東京平

明治四十年七月本科卒業（平井富夫ハ三十年山崎勇馬ハ三十一年卒業シタルモ再ヒ入學シ圖畫教員タルノ課程ヲ修メタリ）

神奈川縣小田原中學校　。三橋信吉　千葉平

前出　。山崎勇馬　高知平

明治四十一年三月本科卒業

牛込區中町三二　東京平　號金頭　。石坂武一

下谷區谷中坂町五二　香川平　號香雪　。野生司述太

在米國　大畑二郎　熊本士

富山縣工藝學校　高桑純吉　石川士

明治四十一年三月選科卒業

大正四年一月廿七日死亡　。久保薫歟　愛媛平　號洪泉

埼玉縣川越中學校　。久保提多　青森士

靜岡縣沒東郡沼津高等女學校　。伊藤貞夫　新潟平

石川縣立工業學校　。武藤直信　石川士

東京帝國大學史料編纂掛　坂內瀧之助　福島士　號青嵐

下谷區谷中初音町四ノ八　内山波之輔　長野平　東京府澁谷町下澁谷一二〇六

大阪朝日新聞社　水島爾保布　東京士　福岡縣絲島郡深江村八五三

下谷區下根岸町二五安並方　小村泰助　埼玉士　未詳

明治四十二年三月本科卒業

岐阜縣揖斐郡揖斐町　野原安司　岐阜平　號櫻洲　東京府日暮里町谷中一七五

島根縣簸川郡高松村　○竹田豐太郎　島根平　號霞村　小石川區指ヶ谷町一九殷淨院方

熊本縣熊本中學校　○甲斐英雄　熊本士　慶應義塾幼稚舍

新潟縣小千谷中學校　○大越直　宮城士　下谷區坂本町四ノ一五

東京府大崎町向谷山一七五　○石川巖　千葉平　號素山

明治四十二年三月選科卒業

長野縣諏訪郡平野村六七四二　宮坂春章　長野平

明治四十二年六月本科卒業

岡山市弘西尋常小學校兼深抵尋常小學校　室野琢磨　石川士　號素月　茨城縣太田中學校

明治四十三年三月本科卒業

東京府南千住通新町六九公春院内　○川崎隆一　愛知平　號小虎　東京府澁谷町下澁谷一四一八

大阪市天王寺勝山通二丁目　○丹羽賢　京都平　號琢堂　日本陶器會社（名古屋）

東京府巢鴨町巢鴨一九四　○濱谷榮次郎　東京平　號白雨　未詳

本郷區新花町九三　○太田益三郎　福島士　號秋民　熊本縣中學濟々黌

石川縣立高等女學校　○安井厚　石川士　岐阜縣大垣中學校

大阪市西區南九條　○黑田純二　香川士　號悅山　兵庫縣伊丹中學校

和歌山縣粉河中學校　○小藪寛二　和歌山平

明治四十三年三月選科卒業

四谷區永住町一　山内金三郎　大阪市　號神斧　下谷區谷中初音町四ノ一四一

大正七年十一月死亡（日不詳）　安村行雲　福岡平　福井縣足羽郡酒生村荒木新保

○朝倉五郎　茨城士

○吉田清二　石川平　號秋光

大串喜代次　佐賀平　號長春

中島彦　福岡士　號湖心

○下林繁夫　熊本士

○小森研二　岐阜平　號研甫

○古東謙吉　兵庫平　號淡山

蔦谷幸作　青森平　號龍岬

大久保應洋　福井士

富山縣下新川郡魚津町荒町七一　野口安太郎　富山平

明治四十四年三月本科卒業

明治四十五年三月廿六日死亡　土橋三郎　福島平　號華城

未詳　戸田正夫　岡山平　號大波

私立攻玉社中學校（芝）　渡邊泰輔　新潟平　號泰我

東京美術學校　戸部隆吉　石川平　號隆古

麻布區飯倉町六ノ一四　大山文吉　東京士

長崎縣中學猶興館　清島長次　長崎平

明治四十四年三月選科卒業

東京府目黒村上目黒五ノ九　矢澤貞則　長野士　號弦月

小石川區餌差町三四一　森山驥三郎　東京士　號香浦

明治四十五年三月本科卒業（濱谷榮ヶ郎ハ四十三年戸田正夫ハ四十四年卒業シタルモ再ビ入學圖畫教員タルノ課程ヲ修メタリ）

臨時帝室編修局（赤坂）　南部茂　高知平

明治四十五年五月廿六日死亡　柴田健次郎　愛媛士

奈良縣櫻井高等女學校　富田一昭　奈良士

島根縣杵築中學校　青山扶　島根平

神奈川縣逗子町字小坪天王山　跡部直吉　東京士　號青瀾

寫知縣土佐郡潮江村　足立季彦　高知士

本郷區根津藍染町一八　篠原圓次　長野平　號晩香　小石川區白山御殿町一一〇　田村外喜雄　石川平　號彩天

黒門琴常小學校（下谷）　大山逸八　新潟平　號天瑞　香川縣大川郡鴨部村　岡村榮　香川平

佐賀縣東松浦郡唐津町長得寺　長井智覺　佐賀平　號天璋　北海道札幌第二中學校　白山青　德島平

本郷區臺町一一　小森二郎　石川士　在印度　井上利正　島根平

私立京華中學校（本郷）　川幡伍一郎　東京平　神戸新聞社　山本信太郎　兵庫平　號廣洋

山形縣新庄中學校　清水潔　新潟士　前出　濱谷榮次郎　東京平　號白雨

前出　戸田正夫　岡山平　號天波

明治四十五年三月選科卒業

小石川區高田豐川町三七　中村恒吉　靜岡平　號岳陵　横濱市南太田町谷原耕地一本松　菊澤六兵衛　埼玉平　號武江

東京府內藤新宿町北裏町一二八　奥山常太郎　三重平　號紫明

明治四十五年七月本科卒業

東京府澁谷町下澁谷　廣島新太郎　德島平　號晃甫

大正二年三月本科卒業

東京美術學校	岐阜平 號柏邦	○篠田十一郎	下谷區御徒士町三ノ五三
京都市下鴨松ノ木四一	兵庫平 號天潢	○船越　謙	下谷區谷中初音町三ノ三九小田方
盛岡市大澤河原小路	岩手士	○田鎖　秀	千葉縣木更津中學校兼木更津高等女學校
麹町區富士見町五ノ一三	廣島平 號柳虹	○川路　誠	三越吳服店(日本橋)
下谷區谷中坂町三	東京平 號後彫	柏谷義一	三越吳服店(日本橋)
小倉市外日明町	福岡士 號雅泉	○麻畑　重	大分縣中津中學校
農商務省特許局	福岡士	菊池猶喜	在米國
小石川區宮下町五一	兵庫平	○河畠義市	島根縣能義郡廣瀬町
栃木縣眞岡中學校	群馬平 號大見	○丹羽善五郎	京都市今出川幸町西入、山中方
福島縣信夫郡瀬上町本町一五	福島平	木實谷喬壽	

大正二年三月選科卒業

		○永田良亮	下谷區谷中初音町三ノ三九小田方
		○內田他治郎	千葉縣木更津中學校兼木更津高等女學校
		○高橋卓一	三越吳服店(日本橋)
		伊藤順三	三越吳服店(日本橋)
		佐藤久米	大分縣中津中學校
		○中島　研	在米國
		○小泉政吉	島根縣能義郡廣瀬町
		掘江　清	京都市今出川幸町西入、山中方
		赤坂　永	

研究生(下谷區西町三)	東京平 號大年	鈴木六三郎	東京府大久保町東大久保三一五
下谷區中根岸町一〇五	東京平 號機峰	上林重德	本郷區森川町一

大正三年三月本科卒業(中島研、丹羽善五郎ハ大正二年卒業シタルモ再ビ入學シ圖畫教員タルノ課程ヲ修メタリ)

神田區今川小路二ノ一五	東京平 號龍江	齋藤敬一郎	水戸市神崎町
本郷區駒込動坂町一二二桑島方	富山平 號雪鄕	立野甚平	茨城縣太田町
大正六年四月廿七日死亡	埼玉平	根岸庄助	新潟縣新潟中學校
新潟縣刈羽郡中通村曾地	新潟平	○三宮　恒	前出
前出	群馬平	○丹羽善五郎	前出

大正三年三月選科卒業

牛込區市ケ谷田町二ノ二八	東京平 號耕崖	龍信五郎	下谷區谷中眞島町一
牛込區早稻田鶴卷町四〇九	東京平 號大春	石本光太郎	宇都宮市三條町

大正四年三月本科卒業(清家恕ハ明治三十一年卒業シタルモ再ビ入學シ圖畫教員タルノ課程ヲ修メタリ)

		山下武一	福岡平 號筑水
		太田福藏	東京平 號天洋
		寺門祐之	茨城平
		石川廣助	茨城平 號雪溪
		○佐藤悠次郎	新潟士
		○中島　研	靜岡平
		平井精一	富山士 號直年
		岡田　清	栃木平

報知新聞社（麹町、有樂町）　。太田義一　山形平
研究生（東京府日暮里渡邊町一〇四〇）　得重常太郎　山口平　號景山
研究生（東京府千駄ヶ谷町原宿二〇九太田方）　。服部謙一　愛知平　號有恒
國華社（京橋）、金上盛三　福島平
愛知縣第二中學校（岡崎）　。西尾聖　靜岡平
東京府日暮里町谷中本七七五清水方　植松俊郎　靜岡平　號艸里
東京府南千住町千住南二　林與　福岡平
宮城縣古川中學校　。山邊重平　長野平
前出　。清家恕　愛媛士

大正四年三月選科卒業

東京府落合村下落合七五三　夏目利政　東京士

大正五年三月本科卒業

研究生（本郷區根津宮永町二九）　富田賢太郎　愛知平　號范溪
東京府巢鴨村池袋一〇三七　加藤丑之助　富山士
本郷區駒込林町一六〇　郷倉與作　東京平　號白雅
芝區金杉町四ノ二〇　狩野守久　東京士　號探道
東京府落合村下落合七五三　友田治夫　宮城平　號宗拙
長崎縣長崎高等女學校　。和田泉介　島根平
麹町區飯田町四ノ九織田方　丹羽芳松　愛知平
京橋區木挽町四ノ四　池田信　大分平
下谷區谷中初音町四ノ一二三　池田桃太郎　岩手平　號龍甫

東京府巢鴨町上駒込九五福井方　。鴻巢善藏　福島平
芝區櫻川町二〇、手代木方　。阿部務　福島士　號逸傘
方英舍（神田美土代町）　。土岡泉　福井平
本郷區淺嘉町七九　。齋藤赫夫　靜岡平　號延年

大正五年三月選科卒業

淺草區榮久町一二七　山田是優　東京平

大正五年七月本科卒業

下谷區谷中三崎町四九天津館　佐藤直巳　山形士

大正六年三月本科卒業

研究生（牛込區新小川町三ノ一八）　勝山恒躬　山形士
本郷區駒込林町一七　福田久也　東京士
下谷區練塀町三加治方　。土肥實　香川士
研究生（東京府瀧野川町田端一〇〇）　鷹巢豐治　佐賀平
本郷區駒込曲坂町二二〇平山方　。桑田利三郎　香川平
本郷區駒込林町一五七堀川方　。遠藤誠　岩手士
大連市信濃町八號地横内方　森修　佐賀平
本郷區千駄木町二七　田上尚之　富山平
愛媛縣宇和島高等女學校　。狩野威信　東京平
淺草區森下町一〇　。井桁晋　東京士

長野縣飯田高等女學校 ○青木寛四郎 長野平

神田區同朋町二二安田方 佐々木義政 香川平

大正六年三月選科卒業

研究生（下谷區眞島町一） 武井輝三 栃木縣號晃陵

大正七年三月本科卒業

本郷區駒込動坂町一二越方 星川清雄 山形士

研究生（下谷區谷中坂町六三臥龍館方） 岩田正巳 新潟平

長崎縣佐世保高等女學校 ○關澄正巳 東京平

東京府品川町北馬場一一五 井上豐治郎 東京平號白楊

千葉縣銚子町 宮内龍子 千葉平

東京府瀧野川町田端五三〇 松浦孝忠 富山平

研究生（下谷區谷中坂町六三臥龍館方） ○湯川直春 大阪平

新潟縣北魚沼郡小千谷町四〇八 麻田寛嶺 新潟平

本郷區駒込動坂町三六七 ○山崎善次郎 佐賀士

在米國 矢部友衛 新潟士

愛知縣東春日井郡旭村 三宅一朗 愛知平

福岡縣糸島郡怡土村井原 浦志武雄 福岡平

東京府瀧野川町田端三三五 山本茂麿 長野平

大分縣速見郡別府町二ノ二九七 吉田毅 大分平

本郷區元町二ノ六六庄内館方 山田安士 山形士

神戸市眞野尋常小學校 關戸三郎右衛門 石川平

福島縣耶摩郡慶穗村三二一五 穗積正雄 福島平

大阪府中河内郡三木本村木本七五 ○秦法成 大阪平

東京府瀧野川町田端三三五 北原大輔 長野平

福岡縣朝倉郡上秋月村一七三一 森茂雄 福岡士

西洋畫科

明治三十年七月選科卒業

東京美術學校 和田英作 鹿兒島士

明治三十一年七月選科卒業

東京府大森町山王 白瀧幾之助 兵庫平

赤坂區溜池榎坂町五 湯淺一郎 群馬平

東京美術學校彙高等師範學校 小林萬吾 東京平

東京府澁谷町下澁谷一八四七 北蓮藏 岐阜平

私立正則中學校及目白中學校（東京） ×丹羽林平 東京平

明治三十二年七月選科卒業

大阪市南區天王寺勝山通二ノ五八九〇 廣瀨勝平 兵庫士

大阪市北區北梅田町四一二 赤松麟作 大阪平

東京府戸塚町諏訪一八 山本森之助 長崎平

下谷區谷中上三崎北町三一 田中寅三 滋賀平

明治三十九年十一月五日死亡　濱中鐵也　東京平

明治三十三年七月本科卒業

岐阜縣揖斐郡小島村和田六三〇　明治四十二年五月廿八日死亡　○窪田喜作　岐阜平

椎塚修房　東京士

明治三十三年七月選科卒業

東京府戸塚町諏訪一八　中澤弘光　東京士

小石川區西原町一ノ一〇　磯野吉雄　東京平

長崎市東中町四八高畠方　庄野宗之助　福岡平

鹿兒島市中町一ノ三號　大牟禮時艾　鹿兒島士

小石川區白山前町七三　江間良吉　靜岡平　號春靜

牛込區市ケ谷山伏町一六　佐藤醇吉　岩手平

神奈川縣小田原町十字三丁目　藤村知子多　東京士

本郷區曙町一三　○原田竹二郎　山口平

私立京北中學校（東京、小石川）　○柴崎恒信　愛媛士

在上海　矢崎千代治　神奈川平

下谷區谷中上三崎北町二二　玉置照信　和歌山平

麹町區麹町七ノ一六　萩生田文太郎　北海道平

仙臺市連坊小路二七五　海老名明四　愛知士

京橋區和泉町六大平方　根津文吉　東京平　號香畝

死亡（年月日不詳）　大倉正愛　福岡士

茨城縣土浦中學校　×石田益敏　靜岡士

明治三十四年七月本科卒業

麻布區笄町二　西伊三次　東京士

私立眞宗京都中學校　喜多村悅三　茨城士

明治四十四年五月十日死亡　平子尙　三重平　號鐸嶺

明治三十四年七月選科卒業

牛込區水道町四九　岡吉枝　三重士

千葉縣夷隅郡清海村字大澤　八條彌吉　大阪平

熊本縣玉名中學校　友枝安　熊本士

本郷區春木町二ノ二九　井上雄太郎　栃木平

東京府代々幡村代々木三四　岡本勤　東京士　號楊雪

靜岡縣田方郡修善寺溫泉場　○金澤悌次郎　北海道平

大阪陸軍地方幼年學校　五味和十　長野平　號晃華

千葉縣安房郡北條町八幡　倉田重吉　東京平　號白羊

芝區三田小山町三　龍田精三　東京平　號牛步

東京府日暮里町谷中本一〇七六　出口清三郎　東京平

朝鮮京城黃金町三ノ二九一大盛堂　城勉一郎　岩手士

明治三十五年七月本科卒業

東京府瀧野川町上中里一五一　○鹽見競　岡山平

濱松市高等女學校　山田榮吉　大阪平

德島縣富岡中學校 ○大東昌可 福岡士
建築學會（東京、京橋、西紺屋町） ○松原康雄 岡山士 東京府第三中學校 ○內野猛 宮崎士
本郷區動坂町二三四 小笠原丁 東京華 秋田縣仙北郡六郷町米町六七 小西正太郎 秋田平

明治三十五年七月選科卒業

大坂市東區味原町六一ノ一號 宇和川通喩 北海道平 在佛國 戸田謙二 石川士
築地活版製造所石版部（京橋） 杉原甚三郎 岡山平 大正七年七月廿八日死亡 森川松之助 東京平
下谷區谷中上三崎南町四三 佐藤均 宮城士 福岡縣築上郡横武村狹間 前田慶次郎 福岡平
女子學習院 岡野榮 東京士 三重縣安濃郡新町八ノ一 ×大八木一郎 京都士
未詳 吉澤喜作 東京平

明治三十六年七月本科卒業

東京府巢鴨町宮仲二一三〇 ○神子鐵雄 東京平 福岡縣宗像郡勝浦村 ○高山六郎 福岡平 號六樓
神戸市楠町三ノ一三五 ○岡四郎 東京士 臺灣總督府（東京） ○速水不染 大分平

明治三十六年七月選科卒業

東京府中野町上ノ原九六二 小林鍾吉 東京士 東京帝國大學醫科大學 郡司卯之助 茨城平
栃木縣佐野中學校 三井由太郎 滋賀士 大阪市東區東雲町二ノ二〇六 安藤靜也 岐阜平
在米國 蘆原曠 北海道士 號綠子 愛知縣海部郡津島町向島仲町 立見淑 千葉士
東京府中野町字上ノ原七六一 跡見泰 東京平 下谷區上野花園町一六 橋本邦助 栃木平
赤坂區青山北町四ノ四七 森岡柳藏 鳥取平 明治四十四年七月廿七日死亡 渡邊亮輔 宮城平

明治三十七年七月本科卒業

下谷區谷中清水町二〇 ○谷齊一 栃木士 大阪府富田林中學校 ○岩鼻正修 京都士

明治三十七年七月選科卒業

岐阜縣惠那郡付知町三九四二 熊谷守一 岐阜平 赤坂區臺町三 和田三造 福岡士
東京府巢鴨町宮下町一七八九 關屋敬次 栃木平 明治四十四年三月廿五日死亡 青木繁 福岡士
日本活動寫眞株式會社向島撮影所佈景部 坪田虎太郎 富山士 本郷區曙町一三 深見和成 東京士

熊本縣天草中學校　藤本　巖　靜岡士　東京府千駄ヶ谷町千駄ヶ谷四七四

岡山縣都窪郡倉敷町酒津　兒島虎次郎　岡山平　東京府代々幡村代々木山谷二八三　山下新太郎　東京平

明治三十七年十二月選科卒業

京都市下京區清水二丁目產寧坂下　多田光三郎　東京平　號星陵

明治三十八年七月本科卒業

赤坂區臺町七四　。橋口　清　鹿兒島士　號五葉　東京府澁谷町下澁谷二一四　。野田昇平　鹿兒島士

帝國劇場株式會社（麹町）　。薄　拙太郎　福岡平　京城公立高等女學校　。丸野　豐　福岡士

兵庫縣揖保郡龍野町　。脇坂安之　兵庫華　茨城縣下妻中學校　。關　精一　茨城平

明治三十八年七月選科卒業

私立早稻田大學　岸畑久吉　三重平　大正七年三月十六日死亡

赤坂區新坂町八　齋藤豐作　埼玉平　小石川區小日向臺町一ノ五一　久萬盛幸　高知士

下谷區谷中清水町一二　飯澤傳之丞　山形平　號天羊　龜山克己　東京士

明治三十九年四月本科卒業

京都市一條通東堀川竪富田町一六　。人見　雪彥　京都士　東京府澁谷町下澁谷一八〇八　辻　永　福岡平

東京美術學校　。森田龜之助　東京平　私立開成中學校（神田）　。江南武雄　北海道平

臺灣臺北府前街三ノ九　西　三雄　東京士

明治三十九年四月選科卒業

東京府代々幡村代々木山谷一一一　森田恒友　埼玉平　東京府澁谷五〇〇　山本　鼎　愛知平

大正七年四月三十日死亡　野口峰吉　長崎平　死亡（年月日不詳）　村上爲俊　愛媛士

東京府淀橋町柏木一五六　高島七郎　福井平　本郷區駒込林町一〇五　大給近清　東京華

大正二年三月十七日死亡　岡　直路　岡山士　在外國　大槻弐雄　東京士

本郷區湯島四ノ一四　今關胤雄　千葉平　號召甫

明治四十年三月本科卒業

愛知縣西春日井郡清洲町　。櫛田利雄　愛知平　芝區伊皿子町四四　。秋葉鎌三郎　東京士

愛知縣第一中學校 ○猪飼俊二 愛知平
鹿兒島師範學校 ○五島健三 富山平
赤坂區表町三ノ二一 ○寺崎武雄 東京平
東京府大久保町百人町二六三 ○南薫造 廣島平
赤坂區青山南町六ノ一〇八 平井武雄 東京平

明治四十年三月選科卒業

牛込區袋町七 マリー、イー、ストレーキ 亞米利加合衆國 松山省三 廣島士

明治四十一年三月本科卒業

赤坂區青山南町二ノ七一 ○中野修二 新潟平
東京府大井町一一九二 ○小林永次郎 栃木平
福島市中町二三 ○油井忠助 福島平
明治四十二年八月廿一日死亡 ○佐藤勉 宮城士
愛媛縣今治中學校 ○陣内貞義 佐賀士
大正元年九月廿六日死亡 榎本彦 東京士
埼玉縣北足立郡馬宮村 永田二郎 埼玉平
大正元年十月廿三日死亡 ○斯波義辰 福井士
牛込區矢來町四ノ二二 正宗得三郎 岡山平
熊本縣鹿本中學校 ○武藤直 熊本士
京都府愛宕郡大宮村西賀茂字川上 太田喜二郎 京都平
岡山市小橋町七六 ○吉田苞 岡山士

熊本縣熊本高等女學校 美作武雄 熊本士 號虹橋
東京府瀧野川町田端五〇〇 ○島田繁夫 德島平
靜岡縣安倍郡清水町清水八八八 ○松野清 靜岡平
埼玉縣粕壁中學校 ○世古溫 靜岡平

明治四十一年三月選科卒業

本郷區西片町一〇はノ八 松井英次郎 新潟士
東京府巢鴨町宮仲二四四四 齋藤五百枝 千葉士
麹町區有樂町二ノ二 小川千藏 東京平
小石川區下富坂町一九 富水勝重 德島平
兵庫縣武庫郡御影村土井方 高田正雄 福岡士
大阪市外今宮町六二一 宮川安信 滋賀平
神奈川縣三浦郡三崎町二町谷 ○松林千里 福岡士
芝區二本榎西町二 川北元英 三重士
福岡縣小倉中學校 ○杉田宇内 愛知平
三重縣度會郡城田村字川端 尾崎彦麿 三重士
東京府千駄ヶ谷町七一四 三浦哲 東京士
栃木縣芳賀郡祖母井村一四〇 北村重樹 栃木平
本所區太平町二ノ一八三 久野延太郎 栃木平
東京府澁谷町中澁谷五六二 伊藤直和 東京士
東京府戸塚町下戸塚五二六 平野馨二 愛知平

神戸市花隈町四四八 ○金山平三 兵庫平
神奈川縣鎌倉扇ヶ谷 有田四郎 東京平
群馬縣高崎中學校 ○山本兵三 東京士
本郷區追分町三一櫻洲館 ○久米福衛 德島士
千葉縣印幡郡旭村三五八 麻生茂 千葉平
芝區白金今里町二五 小林德三郎 德島平
愛媛縣第五中學校 ○菊池香三 岩手士
高知縣長岡郡大篠村大埇三二九 ○溝淵盛美 高知平

明治四十二年三月選科卒業

麻布區霞町二六 安藤東一郎 岡山平

明治四十三年三月本科卒業

東京美術學校 田邊至 東京士
小石川區小日向臺町二ノ四五 笠原輒 新潟平
福島市早稲田町四〇 紺野三郎 福島平
鹿兒島縣女子師範學校 宮崎秀勇 大分平
麹町區一番町二七 中村元麿 滋賀平
小石川區白山前町一 眞田久吉 東京平
山口縣長府金屋町 鹿毛屋藏 福岡士
群馬縣前橋高等女學校 ○上田貞次 新潟士
四谷區本村町二九 小倉三郎 大分平 號碩田
本郷區曙町一六ほノ五 加藤靜兒 愛知平

東京府澁谷町中澁谷七〇四 田中良 鹿兒島士 國民新聞社（京橋） 池部鈞 東京士
鳥取縣倉吉中學校 中井金三 鳥取平 兵庫縣明石町大藏谷七八三山口方 新井完 兵庫士
東京府目黑村三田一八一 長谷川昇 北海道士 東京府瀧野川町田端一〇六 ○香田勝太 鳥取平
讀賣新聞社（京橋） 近藤浩 山梨平 在米國 長野靖彥 鹿兒島平
四谷區舟町一二 九里四郎 東京士 本郷區駒込林町一、鳳林館 山脇信德 高知士
在佛國 藤田嗣治 千葉士 群馬縣群馬郡國府村 ○住谷宗一 群馬平
中外商業新報社（日本橋） ○大谷浩 岡山平 萬朝報社（京橋） ○清水大助 東京平
鳥取縣師範學校 ○藤井禎三郎 山口平 富山縣魚津中學校 佐々木直哉 岩手士
朝鮮總督府學務課 北古賀順橘 佐賀士 下谷區上根岸町八二ノ二 小川長四郎 新潟平
大正三年十二月死亡（日不詳） 蒲生俊武 岐阜平 私立順天中學校（神田） ○大村周二 石川平
宮崎縣兒湯郡下穗北村妻町五六 河野繁市 宮崎平 死亡（年月日不詳） 井上六郎 東京士

明治四十三年三月選科卒業

東京府戸塚町上戸塚八九六　安宅安五郎　新潟平
山口縣佐波郡華村仁井合四七三　兒玉末男　東京平
東京朝日新聞社（京橋）　岡本一平　東京平
都新聞社（麹町）　柴田三郎　山口士

明治四十四年三月本科卒業

佐賀市精町　。山口亮一　佐賀士
本郷區元町一ノ五　中野營三　香川士
未詳　脇龜太郎　德島平
下谷區谷中三崎町四一　。鈴木良治　新潟平
東京府巢鴨町新田七六六　大野隆德　千葉平
水戸市上市幸町　菊池五郎　茨城士
京橋區月島東海岸通二ノ八　。諸澤虎雄　秋田士
大阪府東成郡天王寺村二一〇五　伊島正三郎　香川平
下谷區谷中坂町二一　望月桂　長野平
鹿兒島縣川邊郡加世田村武田一七八九四　西長純　鹿兒島士
埼玉縣熊谷中學校　。大久保喜一　埼玉平
本郷區東竹町一　。佐野貞雄　福島士
下谷區谷中清水町六　富田溫一郎　新潟士
東京府大久保町百人町二六八　鈴木秀雄　東京士
愛知縣海部郡彌富町　横井禮一　愛知平
東京府大久保町百人町三二九　小寺健吉　岐阜士
三重縣北牟婁郡尾鷲町中井浦一一ノ一　東守七　三重平

麻布區六本木町一　。原勇　宮城士
大正六年二月十日死亡　猪飼公正　京都平
牛込區横寺町二七　。濱田盛基　熊本士
牛込區市ヶ谷仲ノ町九　坂井戒爾　東京華

明治四十四年三月選科卒業

支那浙江省杭州第一師範學校　李岸　支那國
支那四川省城內會府西街四二號　曾延年　支那國

明治四十四年四月選科卒業

本郷區向ヶ岡彌生町三と三七小林方　田中塊一　福岡平

明治四十五年三月本科卒業

本郷區追分町三一櫻洲館方　。御厨純一　佐賀平
本郷區追分町三一櫻洲館九　。北島淺一　佐賀平
本郷區根津宮永町一九卯月方　人見彌　愛知平
未詳　。三宮知義　北海道平
明治四十四年七月十七日死亡　中溝四郎　佐賀士
北海道函館區旅籠町四九　本吉勝造　北海道平
東京府瀧野川町田端一〇六　神津港人　長野平
本郷區向ヶ岡彌生町三彌生館　佐藤哲三郎　新潟平

東京府日暮里町日暮里一〇五四　○工藤三郎　北海道平
本郷區駒込林町二四〇　三國久　新潟平
東京府瀧野川町田端一〇六　○齋藤知雄　東京士
本郷區森川町一表北裏松岡方　大江九二太郎　東京平
山梨縣西山梨郡住吉村中小河原　堤龍雄　山梨平
小石川區西原町一ノ八　萬鐵五郎　岩手平
愛媛縣松山中學校　平井爲成　香川平
在英國　栗原忠貳　靜岡平

明治四十五年三月選科卒業

下谷區谷中初音町四ノ一　野元義雄　鹿兒島士

大正二年三月本科卒業

麴町區富士見町二ノ三二　五味清吉　岩手平
本郷區金助町二七幸運館　○清原重一　德島平
福岡縣福岡中學校　○杉江春男　廣島士
東京府瀧野川町西ヶ原二二五　片多德郎　大分平
本郷區駒込動坂町五五　○淺井松彥　東京平
廣島縣安藝郡吉浦村西丸別莊內　○井上清一　廣島平
兵庫縣第一神戸中學校　○倉智亮三　福岡平
大分縣大分中學校　○山下鐵之輔　福岡平
本郷區森川町一　金澤重治　東京士
東京府日暮里町日暮里一一一八　熊岡美彥　茨城平

小石川區指ヶ谷町九二　森山肇　東京士
富山縣下新川郡舟見町　○酒井榮之　富山平
東京府澁谷町中澁谷六九三　牧野虎雄　新潟士
牛込區佐土原町三ノ八　大塚豐　東京士
小石川區白山前町七三　江馬春吉　岐阜平
廣島市南竹屋町一二七　中尾春雄　廣島士
小石川區諏訪町五一　河目悌二　愛知士
秋田高等女學校　○兒玉直之助　秋田平
東京府瀧野川町田端三〇〇大熊方　竹村岱造　新潟平
沖繩縣第一中學校　○樋渡留太郎　山形平
千葉縣安房郡館山町館八〇一　高橋信　千葉士
東京府瀧野川町田端二四一　三宅鑵吉　東京平
下谷區谷中初音町四ノ一三九　吉村芳松　東京平
本郷區肴町五　安達賢治　靜岡平
東京府巢鴨町宮仲二四八八　○川上四郎　新潟平
牛込區新小川町二ノ五　坪井玄治　東京平
東京府澁谷町下澁谷二二九　○布目敏行　石川平
在米國　清野善彌　宮城平
東京府戸塚町諏訪一九　及川吳郎　岩手平
新潟縣北魚沼郡小千谷町一二九　○平澤文吉　新潟平
四谷區傳馬町一ノ二三　鈴木梅月　新潟平
岩手縣遠野中學校　○田中泰吉　東京士
大正五年六月十六日死亡　羽場金司　青森平

大正二年三月選科卒業

日本畫科ニ出ヅ　石坂武一　東京平
支那南京寄望街　陳之駟　支那國

大正三年三月本科卒業

東京府戸塚町諏訪二〇〇　森脇忠　島根士
大正六年八月九日死亡　近藤芳男　東京士
大阪市塚筋周防町　小出楢重　大阪平
靜岡縣榛原中學校　三浦良勳　愛知平
在米國　岡見富雄　東京平
小石川區第六天町一七　平田宗胤　東京士
北海タイムス新聞社（札幌）　小林克己　東京士
岩手縣膽澤郡水澤町鹽竈七七八　伊藤鼎　岩手平
支那北京東安門內北池子北頭路西　白常齡　支那國
東京府大森町新井宿玉塚横富田方　淺井政藏　鳥取士
大正六年七月五日死亡　藤田遜　佐賀平
在米國　遠山五郎　福岡士
時事新報社（京橋）　森島直造　東京平
大正三年五月九日死亡　久保篤敬　山口平
秋田縣山本郡響村仁鮒一一一　畠山秋夫　秋田平
未詳　長崎了惠　石川平
水戸市常盤六二八〇　山田實　茨城平

未詳　原詔光　富山士
東京日々新聞社（麹町）　服部亮英　三重平

大正四年三月本科卒業

ウイルミナ女學校及ブール女學校（大阪）　野田半三　東京士
深川區諸町一、川上方　及川康雄　三重平
芝區芝公園二五ノ八横川方　福原全秀　東京平
愛知縣第三中學校（津島町）　大橋貞一　福島士
東京府代々幡村代々木初臺五九八　鍋井克之　大阪平
支那北京崇文門大街加藤洋行方　栗原誠　靜岡平
大正七年十月二日死亡　川島頴正　福岡士
福岡市土手町二〇　市川芳太郎　福岡平
福岡縣早良郡姪濱町三四七七　濱哲雄　福岡平
未詳　楠本秀男　和歌山平
前出　兒玉直之助　秋田平
研究生（下谷區谷中初音町四ノ一四一）　大久保作次郎　大阪平
本郷區駒込富士前町三　松見吉彦　和歌山士
福岡縣田川中學校　宮武辰夫　香川士
福岡縣直方高等女學校　守田千龜　福岡平
下谷區谷中初音町四ノ一四一　金子保　東京士
長野縣北佐久郡小諸町七〇七小出方　中村彌藤治　長野平
北海道北見國利尻郡鬼脇村一〇九　山田誠一郎　北海道平
東京府澁谷町下澁谷一五四〇　小松喜代子　福島平
秋田縣横手中學校　松美長四郎　石川平

大正四年三月選科卒業

朝鮮京城府苑洞一六四　高義東　朝鮮

大正五年三月本科卒業

東京府瀧野川町田端三二五　梶原貫五　福岡士

東京府瀧野川町田端二八二加藤方　寺內萬治郎　大阪平

本郷區西片町一〇は一八　清水良雄　東京平

淺草區南松山町五四　遠山敎圓　東京平

東京府澁谷町下澁谷二一山田方　幸福光次　三重士

在外國

芝區白金三光町一一七　宮地茂　高知平

東京府六郷村八幡塚一〇九〇　鈴木保德　東京平

東京府雜司ヶ谷金山三四一矢野方　鈴木俊平　靜岡平

支那北京子傑廣東城千面胡同二三　潘壽恒　支那國

東京府瀧野川町上中里一五三　河井清一　山口平

大阪市外玉出町東浦五〇八ノ三　中村義夫　大阪士

赤坂區青山南町五ノ二七鵜飼方　吉澤廉三郎　新潟平

石川縣河北郡花園村　伊東哲　石川平

大阪市南區千年町一一　耳野卯三郎　東京平

淺草區北田原町一ノ一二　兼光豐治　東京平

岡山縣小田郡笠岡町濱　名越豐　岡山平

三重縣河藝郡高野尾村新町　椋樹妙立　三重平

研究生（東京府澁谷町下澁谷一七八七）　織田信大　東京華

東京府巢鴨町宮仲二二四八　藤森靜雄　熊本士

東京府澁谷町中澁谷五二鈴木方　賀來清三郎　大分平

牛込區北山伏町三六　木村圭三　福岡士

下谷區南大門町二　柿崎清助　青森平

大正五年三月選科卒業

朝鮮平壤府館後里二四五　金觀鎬　朝鮮

大正六年三月本科卒業

東京府高田村旭出五一　川合改次郎　靜岡平

兵庫縣豐岡中學校　坂本竹四郎　青森平

東京府高田村雜司ヶ谷一一四三　三浦秀之助　大阪平

研究生（本郷區彌生町三佐藤方）　清水七太郎　岩手平

下谷區谷中清水町五五十嵐方　德田多助　東京平

神戸市駒ヶ林村字出在家町四七　角野判治郎　兵庫平

私立福島縣石川中學校　曾宮喜七　大分士

島根縣飯石郡田井村上山二二　草光信成　島根平

東京府西巢鴨町一〇一三　石川全　石川平

京橋區靈岸島四日市町一三　高間惣七　東京平

東京府日暮里町日暮里一〇七〇　保田重右衛門　和歌山平

水戸市上市梅小路　林正三　茨城平

研究生（本郷區湯島天神町一四八はとや方）　鈴木巖　愛知平

兵庫縣姫路中學校　飯田勇　山口士

東京府巢鴨町駒込染井八　大沼林右衛門　宮城平

研究生（本郷區駒込坂下町一四六清水方）。高橋萬之丞　長野平
研究生（本郷區本郷一ノ五松田方）石原玉吉　埼玉平
本郷區金助町一七　大崎豐次郎　東京平
埼玉縣北埼玉郡共和村境。新井喜惣治　埼玉平

大正六年三月選科卒業

東京府日暮里町日暮里一〇七〇　嚴智開　支那國
未詳　江新　支那國
支那山東省濟南府第一虹橋臨沂　汪洋洋　支那國
支那四川省富順自流井大坪井　方明遠　支那國

大正七年三月本科卒業

研究生（本郷區駒込千駄木町一〇九齋藤方）。加納川郁之助　大阪平
研究生（下谷區谷中上三崎北町三一、田中方）。佃武昭　岡山平
香川縣高松中學校研究生（麻布區笄町二）。三崎道夫　福井士
東京府瀧野川町西ヶ原二二三。鈴木淳　東京士
。石黑義保　長野平
研究生（下谷區上野櫻木町二〇矢代方）山田隆憲　熊本士
朝鮮平壤內川面四洞一二ノ九　金瓚永　朝鮮
神戸市內海岸通二ノ二六東成公司　雷毓湘　支那國
一年志願兵（豐橋歩兵第十八聯隊第二中隊）。細井文次郎　愛知平
研究生（麴町區永田町二ノ一副島方）淵弘三　佐賀士

愛媛縣宇和島中學校。玉井正之助　愛媛平
神奈川縣厚木中學校。加藤廣　埼玉平
滋賀縣彥根中學校。小野信治郎　滋賀平
研究生（麴町區四番町三晩成社內）鱸利彥　千葉平
研究生（本郷區吉祥寺町二〇）龜井實　東京士
淺草區北松山町四二　黑田新　大阪平
本郷區駒込神明町三八二　秋草彌三郎　鳥取平
研究生（東京府瀧野川町田端驛上、諸葛方）河上大二　山口士
下谷區谷中三崎北町二二田中方　三栖敏雄　和歌山平
牛込區南町二二　赤松彥次郎　東京平
赤坂區青山南町四ノ二二　坂東親次　兵庫士
一年志願兵（金澤輜重兵第九大隊第一中隊）飯森定省　石川士
研究生（東京府千駄ヶ谷町原宿一七〇）高梨辰　神奈川平
研究生（東京府代々幡村代々木山谷一六〇）小泉素彥　東京士
一年志願兵（金澤第九師團歩兵第七聯隊第二大隊第八中隊）遠田運雄　石川平
研究生（東京府巢鴨町上駒込三七一）。谷口午二　鹿兒島士
熊本縣八代町袋小路　田代眞　熊本士
研究生（神田區和泉町一ノ二齋藤方）河越虎之進　長野平
千葉縣成東中學校。外山佐傳　熊本平
下谷區谷中天王寺町二〇朝倉方　大塚辰夫　東京平
埼玉縣川越町志儀町　山本治兵衛　埼玉平
牛込區袋町二四　吉田健夫　東京士
深川區松村町一二　小栗清造　愛知平
埼玉縣北足立郡浦和町三九三五ノ一　池ノ內三郎　埼玉平

下谷區谷中三崎町四九厨子方　齋藤赤心　福岡士　東京府澁谷町下澁谷五二一　鮫島利久　東京士

本郷區蓬萊町六東洋館方　藤田雅夫　宮崎士　一年志願兵（弘前歩兵第五十二聯第三中隊）。笹森清一郎　青森士

本郷區駒込千駄木町七〇　鹿兒島彦次郎　福岡平

大正七年三月選科卒業

支那雲南省大東門外金牛寺街盛酒房　李廷英　支那國　支那廣東省城大南門外麥欄街一七安藥房　劉鏡源　支那國

彫刻科

明治二十六年七月本科卒業

東京美術學校　大村西崖　靜岡平　東京美術學校　白井保治郎　東京平　號雨山

明治二十七年二月本科卒業

本郷區駒込神明町七　宮本二七郎　廣島士　號瓦全　未詳　峯斧吉　佐賀平

明治二十七年二月選科卒業

明治四十四年四月十二日死亡　小和田武司　東京士

明治二十七年七月本科卒業

奈良市雜司町五九　新納忠之助　鹿兒島士　號古拙　宇治山田市大世古町九四　龜田德太郎　三重平　號三嶠

大阪府職工學校　黑岩倉吉　東京平　號淡哉　小石川區大原町一九　本山辰吉　高知士　號白雲

私立筑紫高等女學校（福岡）　×田中助太郎　福岡士　號雪窟　東京府瀧野川町田端五一二　板谷嘉七　茨城平　號波山

死亡（年月日不詳）　美田萬壽之介　埼玉平

明治二十七年七月選科卒業

和歌山縣田邊町中屋敷一五小倉方　增田有信　宮城士

明治二十八年二月選科卒業

神奈川縣鎌倉町由比ケ濱一一八　小泉德治　東京士　號湘雲　未詳

明治二十八年七月本科卒業

下谷區谷中眞島町七　後藤省吾　和歌山士　名倉復四郎　東京士　號光山

明治二十九年七月本科卒業

奈良東大寺勸學院　菅原大三郎　山形平　號春月

長野縣上諏訪町一〇八一　鮎澤秀夫　長野士

明治三十年七月本科卒業

大阪市南區天王寺眞法院町五六九五　天岡均一　兵庫士

大正五年六月二日死亡　信谷友三　東京士

東京府瀧野川町田端二三〇　上木俊一　福井士　號是心

香川縣鹽飽工業學校　中川萬次郎　熊本平

明治三十一年七月本科卒業

大正元年十一月六日死亡　野口藤三郎　佐賀士

明治三十二年七月本科卒業

麹町區麹町八ノ一九　中村直彦　東京士

京都市陶磁器試驗所　三橋清　青森士

福井縣福井高等女學校　野村厚生　福井士

千葉縣安房郡岩井村大字二部　澤藤太郎　千葉平

死亡（年月日不詳）　村尾平吉　鳥取士

大阪市南區上本町七ノ五二六殿四　淺野勇次郎　愛知平

熊本市外花園村本妙寺御坂　松原象雲　熊本平

香川縣大川郡富田村　賴富新吉　香川平

東京府高田村雜司谷鶴卷三七九　木澤禎　和歌山平　號石雲

東京府日暮里町渡邊町一〇四〇　渡邊長男　大分士

松山市新玉町三五　山本八十藏　大阪平

東京府日暮里町元金杉七四六　秋山要治　北海道平

明治三十三年七月本科卒業

本郷區動坂町一〇七　長愛之　栃木士

新潟縣柏崎町下浦町　阿部光治　新潟平

明治三十三年七月選科卒業

在米國　前島交吉　東京士

東京府千駄ヶ谷町原宿六三　佐藤八百　東京士　號原山

東洋コンクリート工業會社（芝、白金志田町）　土屋勝郎　東京士

奈良縣生駒郡跡村尼ヶ辻唐招提寺　千葉胤恒　宮崎士

明治三十四年七月本科卒業（木彫科）

石川縣工業學校　青木外吉　石川士

横須賀海兵團　足立厚實　東京士

麹町區三番町六四　筧登久太郎　東京士

明治卅四年六月卅日死亡　石井德千代　東京士

大正四年二月廿四日死亡　山田政治　東京平

新潟縣南蒲原郡加茂町一六一　小林正次郎　新潟平　號雨江

淺草區諏訪町二二　安田久吉　東京平

明治四十年十月十八日死亡　本保義太郎　富山平

明治三十四年七月本科卒業（塑造科）

東京府巢鴨町南傳中八四　武石弘三郎　新潟平

明治三十四年七月選科卒業

大正五年五月廿八日死亡　山崎巳之助　東京平　麹町區下二番町四〇　横田秀一　東京士

明治三十五年七月本科卒業（○印ハ木彫科△印ハ塑造科卒業）

東京美術學校　△水谷鉄也　東京士　號佳園　本郷區駒込林町二五　○高村光太郎　東京平

日本陶器會社（名古屋市則武）　△島宗磨瑳雄　新潟平　小石川區餌差町三四　○石川成錄　靜岡士

明治三十七年死亡（月日不詳）　△山本筍一　石川士　奈良縣生駒郡郡山町　△細谷三郎　群馬士

明治四十四年七月廿五日死亡　△柴野健作　廣島平　明治四十二年五月廿三日死亡　○宮原顯藏　愛媛士

明治三十五年七月選科卒業（木彫）

東京美術學校倶樂部　後藤良　東京士

佐伯郡立工業徒弟學校（廣島縣）　佐藤利三郎　香川平　號素雲　大阪府東成郡住吉南一丁　今戸精司　大分平

明治三十六年七月本科卒業

新潟縣三島郡脇野町上岩井一四六　遠藤忠雄　新潟平

明治三十六年七月選科卒業（○印ハ木彫選科△印ハ塑造選科）

東京府日暮里渡邊町　○毛利教武　東京平　京都市堺町通二條下ル　○明珍恒男　東京士

小石川區林町三七　△杉本傳　愛媛平　號守中

明治三十七年七月本科卒業

小石川區西原町二ノ一七　宮原常二郎　富山平　號騎靡

明治三十七年七月選科卒業

東京府戸塚町諏訪二三〇　內藤伸　島根平　本郷區駒込神明町三六三　田中親光　東京士

牛込區早稲田鶴巻町二一七　田口幸三　岡山士　號美洲　在佛國　稲垣吉藏　新潟平

明治三十八年七月本科卒業

香川縣工藝學校（高松）　竹內友吉　富山平　號友樹　明治四十年五月廿二日死亡　竹內定吉　富山平

東京府日暮里渡邊町一〇四〇　石川確治　山形平

明治三十八年七月選科卒業

東京府寺島村寺島二三〇四　來海篤次郎　島根平　東京府瀧野川町田端五二一　田嶼珪三　福井平　號一嗣

在米國　佐々木榮多　神奈川士　號指月

明治三十九年四月本科卒業

東京美術學校　畑正吉　富山士

明治三十九年四月選科卒業

東京府大崎町大崎五八二　川上邦世　東京士　山形縣東村山郡長崎町二二〇六　服部喜一郎　山形平

四谷區荒木町一三　田中良次郎　東京平　號良雄

明治四十年三月本科卒業

東京府內藤新宿町番衆町一七　小倉右一郎　香川平　名古屋製陶所（名古屋市外千種町）　吉田政一　鳥取平

東京府日暮里町日暮里一〇九七　藤井浩祐　東京平　東京府高田村鶴山一五〇一　加藤直泰　富山士

大正七年五月十九日死亡　勝尾準太郎　石川士　香川縣琴平町一一五四　吉田祥三　香川平　號示羊

大阪府東成郡鶴橋町天王寺　中村武平　香川平　在伊國　武田粲　大阪平

明治四十年三月選科卒業

下谷區谷中天王寺町二〇　朝倉文夫　大分平　東京府瀧野川町田端五二一　池田勇八　香川平

明治四十年十月十日死亡　佐野長吉　東京平

明治四十一年三月本科卒業

高松市通町青山四丁目　藤川勇造　香川平　京都市下京區問屋町正面上ル千葉方　小田慈善　香川平

東京府大久保百人町一九五　木下多聞　東京士　小石川區竹早町三六小山田方　高橋直人　長野士

東京府中野町上野原七八八　和田嘉平治　栃木平　大正四年六月四日死亡　蘆野廣　東京平

明治四十一年三月選科卒業

未詳　小林定治郎　東京平　號一杉　東京府工藝學校　相羽彦次郎　靜岡平

本郷區根津西須賀町五　佐藤金次郎　東京平　號穀明　本郷區駒込追分町三一鴻城飾　矢守一生　三重士